

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
基本方針1 観光まちづくりを主体的に推進する人材の育成と組織体制の強化							
1	① 観光まちづくりに対する市民意識の醸成	<p>◆観光まちづくりへの市民の理解を深め、地域が一体となった受入体制の気運を高めるため、観光PRポスターやチラシ等を作成し、市内公共施設、主要集客施設、イベント、展示会場等、市民が多く目に触れる場所に掲示し、広く周知を図る。</p> <p>◆観光まちづくりに主体的に取り組む方々の活動情報を発信する方策を構築するとともに、活動者自らが積極的に情報発信できるよう支援する。</p> <p>◆PR活動を広く進めるため、チラシ等の設置場所や、デジタル化を含めて活動内容を発信する媒体の拡充に努める。</p>	<p>観光PRポスターやチラシ等の作成</p> <p>活動内容の情報発信</p> <p>観光PRポスターやチラシ等の設置場所・活動内容発信媒体の拡充 【後期計画より新規】</p> <p>その他</p>	<p>市(商工観光課) 市観光協会</p> <p>市(商工観光課) 市観光協会</p> <p>市(商工観光課) 市観光協会</p>	<p>継続実施</p> <p>継続実施</p> <p>短期(1～3年)</p>	<p>【市・市観光協会】 ・「るるぶ特別編集『稲沢市』」や「信長と稲沢」「稲沢のカフェ」等の観光パンフレット設置場所の拡大や、「勝幡城跡」御城印を始めとするPRツール、デジタルサイネージ等の広報媒体を活用した市民啓発に努めるとともに、稲沢市の新たなご当地グルメ(稲沢カレー)を開発し、市内を中心にPRしてきた。</p> <p>【市観光協会】 ・稲沢市観光協会公式ホームページやシティアテンダントInstagram等を通じて、稲沢市の様々な魅力情報の発信に取り組んだ。 ・アピタ稲沢店及びリーフウォーク稲沢に設置された稲沢市PRコーナーにおいて、パンフレットやチラシを配架し、観光情報の発信に努めた。</p> <p>【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ・稲沢市観光協会公式Webサイト内のラボ紹介ページの掲載情報を充実させるとともに、「美濃路稲葉宿元気マルシェ」や「ワンコインチャリティー四季の詩」の開催を始めとするいなざわ観光まちづくりラボのプロジェクト活動を通じて地域や市民の理解を深め、観光まちづくりを担うプレーヤーの拡大に努めた。 ・いなざわ観光まちづくりラボの活動を通じて市民の興味関心呼び込み、多様な主体を巻き込んだ観光まちづくり事業へと展開していくため、支援金制度を引き続き実施するなど、ラボプロジェクトの具現化に向けた支援に取り組んだ。</p> <p>【市・市観光協会】 ・観光PRポスター・チラシ設置場所候補地の開拓に努めた。</p> <p>【市観光協会】 ・市民に稲沢市の観光資源の魅力を知ってもらうとともに、観光まちづくりに対する市民意識の醸成を図るため、リーフウォーク稲沢協力の下、「いなざわ観光まちづくり展」を開催した。(8月22日・23日) ・今年度新たに、名古屋市栄地下街のURスペース「まちなたね」会場において、いなざわ梅まつりや市の特産品のPRなど、稲沢市の魅力を発信した。(1月29日～2月4日) ・現地集合解散型体験プログラムを新たに創出し、市民及び近郊エリア居住者を対象に提供した。 1.木曾川で気軽にSUP体験 2.マカイビーチでウインドサーフィンに挑戦! 3.バナナもぎとり体験 4.苔玉づくり体験</p> <p>【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ・美濃路稲葉宿周辺エリアの魅力を市民にも広く浸透させるため、いなざわ観光まちづくりラボメンバーが立ち上げた「美濃路稲葉宿元気プロジェクト」との協働により、御宿印の販売やマルシェの開催等に取り組んだ。 ・美濃路稲葉宿元気マルシェ開催(5月13日、12月3日)</p>	<p>【市・市観光協会】 ・引き続き「るるぶ特別編集『稲沢市』」や「信長と稲沢」「稲沢のカフェ」等の観光パンフレット設置場所の拡大や、「勝幡城跡」御城印を始めとするPRツール、デジタルサイネージ等の広報媒体を活用した市民啓発に努めていく。</p> <p>【市観光協会】 ・稲沢市観光協会公式Instagram及び稲沢市シティアテンダントInstagramの投稿等、市民を含め、より多くの方々に稲沢市の観光資源の魅力を広めていけるよう発信力の強化に努めていく。 ・新たなご当地グルメ(稲沢カレー)の認知度を高めていく。</p> <p>【市観光協会】 ・いなざわ観光まちづくりラボのメンバー間のネットワークづくりの強化や様々なプロジェクト活動を通じて地域や市民を巻き込み、観光まちづくりに対する意識の醸成を図り、プレーヤーの裾野を広げていく。</p> <p>【市・市観光協会】 ・観光PRポスター・チラシ設置場所候補地の検討を行う。</p> <p>【市観光協会】 ・「いなざわ観光まちづくり展」を定期開催していく。 ★目標/年2回開催 ・現地集合解散型体験プログラムを新たに創出し、市民及び近郊エリア居住者を対象に提供する。 ★目標/年間5プログラム設定</p> <p>【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ・引き続き「美濃路稲葉宿元気プロジェクト」との協働により、御宿印の販売やマルシェの開催等に取り組む。</p>

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
1	② 観光まちづくり推進体制の整備	◆観光まちづくりを持続的に推進する組織として、稲沢市観光協会をファシリテーターとし、市民、事業者、団体等の多様な関係者による協働ネットワークで構成される観光まちづくりプラットフォーム「いなざわ観光まちづくりラボ」を2018(平成30)年度に設置した。	「いなざわ観光まちづくりラボ」の立ち上げ 重点アクションプラン	市(商工観光課) 市観光協会	実施済み	【市観光協会】 2018年7月4日に「いなざわ観光まちづくりラボ」を設置。 (設立時メンバー数: 46人) (設立時プロジェクト数: 4プロジェクト)	—
1	③ 観光協会の組織・機能強化	◆稲沢市観光協会が持続的な観光まちづくりを推進する上で中核を担える存在となるよう、事業内容の整理や職員の適正配置、行政や関係機関・団体との連携を強化することで組織体制の充実を図る。 ◆「いなざわ観光まちづくりラボ」のファシリテーターとして、市民との協働によって地域の多様な魅力を掘り起こし、プロジェクトの企画立案を実践(アクション)につなげていく。 ◆本市ならではの観光メニューを活かした誘客促進を図り、適切な集客・販売ルートにより地域経済の活性化に向けた仕組みを構築する。 ◆ターゲットを絞った戦略的な観光プロモーションを展開し、本市への来訪意欲を高めることで、消費意欲の喚起を図る。 ◆効果的な自主事業の展開により収入と会員の増加を図り、自主財源を確保することで経営基盤を強化し、将来的に法人化移行による独立採算経営の可能性について検討していく。	「いなざわ観光まちづくりラボ」の運営 重点アクションプラン	市(商工観光課) 市観光協会	継続実施	【市観光協会】 ・全体会議を約2か月に1回のペースで開催(現地・オンライン併用)し、意見交換やプロジェクトの提案など、活発な情報交換を行った。今年度もラボメンバー間のコミュニケーション強化を図るため、少人数でのグループセッションを行った。 ・組織運営面での自主性、自立性の向上を目指し、ラボのファシリテーターの役割を稲沢市観光協会とラボの中心メンバーが引き続き協働で担った。 ・昨年度に続き、ラボ活動(プロジェクト)に対する支援措置(支援金制度)を設け、「やわせてくウォーキングと講演会」のプロジェクトを採択した。 ・稲沢市観光協会が取り組む事業を魅力的かつ効果的に展開していくため、ラボメンバーに各種事業への参画を呼び掛け、個々の持つ知識や経験、ノウハウの活用に努めた。	【市観光協会】 ・全体会議を2か月毎に定期開催し、意見交換やプロジェクトの提案など、情報交換を行っていき。またプロジェクトの具現化に向けた活発な活動が行えるよう、支援金制度や会議を通じた場の提供など、様々な支援措置を講じていく。 ・多様な主体の巻き込みとネットワークづくりを推進していくことで、新たなメンバーの獲得とプロジェクトの立ち上げに繋げていく。
			関係機関・団体と連携した観光メニューの創出	市(商工観光課) 市観光協会	短期(1~3年)	【市・市観光協会】 ・稲沢商工会議所が主催する「稲沢まちゼミ」(得する街のゼミナール)に参加し、着地型観光プラン「ぎんなんマイスターになろう!」を昨年度に引き続き実施した。イチヨウ黄葉のガイド付き散策に加え、祖父江町商工会とJA愛知西の協力を得て、ぎんなん落とし体験をプログラムに取り入れた。 【市観光協会】 ・会員事業者やいなざわ観光まちづくりラボメンバー、観光ボランティアガイドとの連携の下、市内及び近郊エリアをターゲットとした着地型観光プログラムを創出し、商品化に取り組んだ。 1.木曾川で気軽にSUP体験 2.マカイビーチでウインドサーフィンに挑戦! 3.バナナもぎとり体験 4.苔玉づくり体験	【市・市観光協会】 ・稲沢商工会議所や祖父江町商工会、平和町商工会、JA愛知西などとの連携を強化し、稲沢の魅力づくりを推進していく。 ・近隣市町(愛西市、津島市、清須市など)を始め、本市と共通のテーマ・資源を持つ地域と連携した観光メニューを創出することで、相乗的な誘客を目指す。 【市観光協会】 ・季節別、テーマ別に様々な関係機関・団体と連携を図り、新たな観光メニューの創出を図る。 ・商工会議所・商工会と連携し、地元企業・事業者の協力による産業観光メニューの創出を目指す。 【市・市観光協会・祖父江町商工会・農工商業者】 ・祖父江ぎんなんパークを活用し、イチヨウの花の観察やぎんなん収穫体験など、イチヨウ黄葉見学以外の新たな楽しみ方を提案していく。
			観光協会における職員適正配置	市(商工観光課) 市観光協会	中期(3~5年)	【市観光協会】 ・職員5名体制で、以下のような取組を通じて「稲沢市観光まちづくりビジョン」の具現化に努めた。 1.いなざわ観光まちづくりラボの運営サポート及びプロジェクトの実現に向けたコーディネート業務 2.関係機関・団体と連携した観光メニューの創出 3.公式Webサイト等を活用した情報発信の強化 4.新たな観光ルートや広域観光ルートの創出 5.マーケティング分析に基づいた戦略的な観光プロモーションの実施 など	【市観光協会】 ・観光コーディネーターを中心に5名体制で、引き続き「稲沢市観光まちづくりビジョン」の具現化に向けて取り組んでいく。職員それぞれが協会に求められているミッション、役割を十分に理解し、活動領域を広げていく。 ・特にご当地グルメ(稲沢カレー)の定着と発展に向けて取り組みを強化させていく。 ・市と協会との連携強化と情報共有のため、「稲沢市観光まちづくりビジョン」の進行管理、具体的なアクションプランの検討、関係団体への働きかけと役割分担等を協議する場として、「アクションプラン推進会議(仮称)」を新たに設置し、3か月に一度開催していく。

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
1	③ 観光協会の組織・機能強化	<p>◆稲沢市観光協会が持続的な観光まちづくりを推進する上で中核を担える存在となるよう、事業内容の整理や職員の適正配置、行政や関係機関・団体との連携を強化することで組織体制の充実を図る。</p> <p>◆「いなざわ観光まちづくりラボ」のファシリテーターとして、市民との協働によって地域の多様な魅力を掘り起こし、プロジェクトの企画立案を実践(アクション)につなげていく。</p> <p>◆本市ならではの観光メニューを活かした誘客促進を図り、適切な集客・販売ルートにより地域経済の活性化に向けた仕組みを構築する。</p> <p>◆ターゲットを絞った戦略的な観光プロモーションを展開し、本市への来訪意欲を高めることで、消費意欲の喚起を図る。</p> <p>◆効果的な自主事業の展開により収入と会員の増加を図り、自主財源を確保することで経営基盤を強化し、将来的に法人化移行による独立採算経営の可能性について検討していく。</p>	<p>適切な集客・販売ルートの拡充</p> <p>戦略的な観光プロモーションの実現 ※<基本方針3>アクションプラン①の項で記載</p> <p>自主事業の推進による独立性の確保</p> <p>法人化及び収入源確保策の検討</p>	<p>市(商工観光課) 市観光協会 商工会 ほか</p> <p>市(商工観光課) 市観光協会 商工会 ほか</p> <p>市(商工観光課) 市観光協会</p> <p>市(商工観光課) 市観光協会</p>	<p>中期(3~5年)</p> <p>中期(3~5年)</p> <p>中期(3~5年)</p> <p>中期(3~5年)</p>	<p>【市・市観光協会】 ・観光商談会や観光展等への参加を通じて、稲沢市の魅力を発信し、誘客促進に務めた。</p> <p>・愛西市及び愛西市観光協会と共同で「信長公生誕の地・勝幡城跡」のPR活動を展開した。 1.「お城EXPO 2023」に出展。 (12月16日・17日/バンフィコ横浜ノース) 活動内容:来場記念特別御城印の販売、勝幡城CG復元動画の放映など 2.「にっぽん城まつり2024 feat.出張!お城EXPO in愛知」に出展。 (2024年3月2日・3日/吹上ホール) 活動内容:来場記念特別御城印の販売、勝幡城CG復元動画の放映など</p> <p>⇒ <基本方針3> アクションプラン①「観光資源の価値と理解を深めるプロモーションの強化」・主な取り組み「戦略的な観光プロモーション」を参照。</p> <p>【市観光協会】 ・「いなッピーグッズ」や武将観光関連グッズ(御城印等)の販売に取り組み、収益確保に努めた。 ・お城EXPO、にっぽん城まつり会場において勝幡城跡特別御城印を販売し、収益確保に努めた。</p> <p>【市・市観光協会】 ・具体的な検討に至らず。</p>	<p>【市・市観光協会】 ・観光商談会や観光展等への参加を通じて旅行事業者を始めとする観光関係者との関係強化に努めるとともに、本市の観光素材を積極的に売り込み、新たな旅行商品の造成を働き掛けていく。</p> <p>・武将、お城、街道をテーマとするイベント等に出展し、織田信長公や勝幡城跡、美濃路に興味関心の高いターゲット層へのアプローチを積極的に仕掛けていく。</p> <p>・引き続き、愛西市及び愛西市観光協会と共同で「信長公生誕の地・勝幡城跡」のPR活動を展開する。 1.「お城EXPO 2024」に出展。 2.「にっぽん城まつり2025 feat.出張!お城EXPO in愛知」に出展。</p> <p>⇒ <基本方針3> アクションプラン①「観光資源の価値と理解を深めるプロモーションの強化」・主な取り組み「戦略的な観光プロモーション」を参照。</p> <p>【市観光協会】 ・会員が加入メリットを実感できる事業を継続的に展開することで、既存会員の確保と新規会員の獲得に繋げる。</p> <p>【市・市観光協会】 ・先進地域の現状や組織のあり方について、調査研究を進めていく。 ・「稲沢市観光まちづくりビジョン」に位置付けられた市観光協会の役割を果たしていくために組織として何が必要かを見定めていく過程で、法人化の必要性を慎重に検討していく。</p>
1	④ 観光受入体制の整備	<p>◆国内外からの来訪者に対応するため、行政、市民、観光関係者が連携して、おもてなし意識の醸成や観光関連施設等の観光受入体制を整備する。</p> <p>◆おもてなしの第一線で活躍する観光人材の育成に向けて、本市の歴史や文化、ガイドとしての心得等を学ぶ観光ボランティアガイド育成講座を継続的に開催するほか、ボランティアガイドの組織強化、充実に取り組む。</p> <p>◆情報提供や人の交流などの機能を持った観光受入施設づくりも併せて検討し、来訪・交流人口の拡大とリピーターの確保を図る。</p>	<p>観光ボランティアガイドを育成するためのおもてなし講座の開催及びボランティアガイドの主体的な活動の支援</p>	<p>市観光協会</p>	<p>短期(1~3年)</p>	<p>【市観光協会】 ・「祖父江イチョウ黄葉ガイド付き散策」の旅行会社からの要請に備え、ガイド研修を10月、11月に開催した。 ・美濃路稲葉宿周辺のガイド案内の参考とするため、10月11日に知立市(旧東海道の街並み)において、観光ボランティアガイド研修会を実施した。 ・美濃路稲葉宿本陣跡ひろばの有効活用、観光ボランティアガイドの交流促進を目的として、2023年2月から、定期的に開放する取り組みを継続している(毎週火・金に実施)。</p> <p>【市観光協会】 ・観光ボランティアが愛知県観光協会が主催するガイド研修会に参加し、他地域の先進事例や観光客へのおもてなし手法、接客対応等について学んだ。</p>	<p>【市観光協会】 ・稲沢市内の主要な観光スポットにおけるガイド体制を整備するため、人材の育成と確保に取り組んでいく。 ・市内観光資源に関する知識習得のため、稲沢市ふるさとガイドの会とも連携し、現地研修会の開催や案内マニュアルの作成に取り組む ・美濃路稲葉宿本陣跡ひろばの有効活用、観光ボランティアガイドの交流促進を目的として、引き続き定期的に開放する取り組みを継続する(毎週火・金)。</p> <p>【市観光協会】 ・一般市民も対象とした「おもてなし」講座や研修会を企画し、参加者の中から新たなボランティアガイドを募っていく。</p>

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
1	④ 観光受入体制の整備	<p>◆国内外からの来訪者に対応するため、行政、市民、観光関係者が連携して、おもてなし意識の醸成や観光関連施設等の観光受入体制を整備する。</p> <p>◆おもてなしの第一線で活躍する観光人材の育成に向けて、本市の歴史や文化、ガイドとしての心得等を学ぶ観光ボランティアガイド育成講座を継続的に開催するほか、ボランティアガイドの組織強化、充実に取り組む。</p> <p>◆情報提供や人の交流などの機能を持った観光受入施設づくりも併せて検討し、来訪・交流人口の拡大とリピーターの確保を図る。</p>	<p>テーマ別マイスター認定制度の創設 【後期計画より新規】</p> <p>観光案内看板や施設内誘導看板などの整備</p> <p>文化財の案内看板の拡充</p> <p>観光パンフレット設置場所の充実</p> <p>デジタルサイネージの充実</p>	<p>市観光協会</p> <p>市（商工観光課）</p> <p>市（生涯学習課）</p> <p>市（商工観光課） 市観光協会</p> <p>市（シティプロモーション課） 市（商工観光課） 市観光協会</p>	<p>短期（1～3年）</p> <p>短期（1～3年）</p> <p>短期（1～3年）</p> <p>短期（1～3年）</p> <p>短期（1～3年）</p>	<p>【市観光協会】 ・具体的な進展なし。</p> <p>【市】 ・新規整備なし。</p> <p>【市】 ・正琳寺・青宮寺等の駒札（案内看板）の修繕を行った。</p> <p>【市・市観光協会】 ・アビタ稲沢店やリーフウォーク稲沢、観光協会会員店舗の協力を得て、各店内に観光パンフレットやチラシを置くことができた。また、愛知県観光協会や近隣の観光協会、愛知県図書館、知多半島道路の大夫・阿久比パーキングエリア等に定期的に観光パンフレットを提供した。</p> <p>【市・市観光協会】 ・稲沢市の主要玄関口である名鉄国府宮駅の地下改札前に設置しているデジタルサイネージを活用し、駅利用者に向けて本市の魅力の創造及び発信に寄与する情報や本市の観光・イベント情報などを発信した。</p> <p>【市】 ・稲沢市の魅力発信ツールとして広く活用している。</p>	<p>【市観光協会】 ・認定制度についての検討を行う。</p> <p>【市】 ・市内の美濃路ルート上に路面標示案内シートを設置する。 ・観光案内看板等の設置状況を再点検し、必要に応じて修繕等を行う。</p> <p>【市】 ・文化財所有者と協力し、文化財標柱等の適切な維持・管理に努めるとともに、必要に応じて修繕等を行う。 ・古い物は全て文化財との考えの下、地域から看板の設置依頼が度々あり、対応に苦慮している。</p> <p>【市・市観光協会】 ・「るるぶ特別編集『稲沢市』」や観光ガイドBOOK「信長と稲沢」、「稲沢のカフェ」、「ご当地カレー」など、稲沢市の観光パンフレットを多くの人に見てもらい、来訪又は周遊のきっかけにもらうため、既存の設置場所を維持しつつ、新規拡充を図っていく。 また、観光協会会員や関係組織・団体に加え、民間施設に対しても観光パンフレットの設置協力を求めている。</p> <p>【市】 ・デジタルサイネージを活用した魅力の創造及び発信に寄与する情報や観光・イベント情報の発信を引き続き積極的に行っていく。</p>

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
1	④ 観光受入体制の整備	<p>◆国内外からの来訪者に対応するため、行政、市民、観光関係者が連携して、おもてなし意識の醸成や観光関連施設等の観光受入体制を整備する。</p> <p>◆おもてなしの第一線で活躍する観光人材の育成に向けて、本市の歴史や文化、ガイドとしての心得等を学ぶ観光ボランティアガイド育成講座を継続的に開催するほか、ボランティアガイドの組織強化、充実に取り組む。</p> <p>◆情報提供や人の交流などの機能を持った観光受入施設づくりも併せて検討し、来訪・交流人口の拡大とリピーターの確保を図る。</p>	SNS等を活用した情報発信	市(商工観光課) 市観光協会 商工会 ほか	短期(1～3年)	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲沢市観光協会公式ホームページやInstagramを活用し、稲沢市の様々な魅力情報を積極的に発信した。また、稲沢市シティアテンダントによるInstagram投稿にも取り組み、SNSを活用した情報発信の強化に努めた。 ・稲沢市シティアテンダントが市内の体験施設を紹介する体験プランのチラシを作成し、Instagram投稿も含め、誘客促進に努めた。 1.木曾川で気軽にSUP体験 2.マカビーチでウインドサーフィンに挑戦！ 3.バナナもぎとり体験 4.苔玉づくり体験 <ul style="list-style-type: none"> ・祖父江ぎんなんをはじめとする市内の食材を活用した料理を紹介する「地産地消おしゃれな料理教室」を実施した。 <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「そぶえイチョウ黄葉まつり」の期間を中心に、現地へ訪れる黄葉観賞者に向けて、商工会のX(Twitter)や「そぶえイチョウ黄葉まつり実行委員会」の公式Webサイト上で黄葉状況等をタイムリーに発信した。 <p>【稲沢イルミネーション実行委員会(市・市観光協会・商工会議所・寺社・農商工業者・大学・いなざわ観光まちづくりラボ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・X(Twitter)、Instagram、Facebookを活用し、イベント情報をタイムリーに発信した。 	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各祭り・イベントにおいて、開催の目的や内容、ターゲットとする来場者に応じた最適なSNSを活用し、効果的かつタイムリーな情報発信によって誘客に繋げていく。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Instagram投稿キャンペーンの実施など、SNSの活用により公式サイト等と連動した効果的かつタイムリーな情報発信を推進し、稲沢市の観光情報への訴求力を高めていく。 ・稲沢市観光協会公式Instagram及び稲沢市シティアテンダントInstagramについて、市民を含め、より多くの方々に稲沢市の観光資源の魅力を広めていけるよう、投稿内容の充実と発信力の強化に努めていく。 <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会の公式Webサイト、X(Twitter)及び「そぶえイチョウ黄葉まつり」の公式Webサイトを活用して、祖父江イチョウ黄葉やぎんなんに関する情報を随時発信していく。 <p>【稲沢夏まつり実行委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・X(Twitter)、Instagram、Facebookを活用し、イベントの情報発信をタイムリーに行う。
			観光関連施設におけるWi-Fi環境の整備	市(シティプロモーション課) 市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者 ほか	中期(3～5年)	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「稲沢イルミネーション」のイベント会場、イチョウ黄葉期間中の祖父江ぎんなんパーク及び「いなざわ梅まつり」会場において、来場者サービスの一環として無料Wi-Fiスポットを開設した。 	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年多くの観光客が見込まれる祭り・イベントにおいて、来場者サービスの一環として会場内に無料Wi-Fiスポットを開設する。現地からタイムリーな情報を発信し、拡散を促すことで、更なる観光誘客に繋げていく。
			観光案内所の設置検討	市(商工観光課) 市観光協会	中期(3～5年)	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美濃路稲葉宿本陣跡ひろばの建物について、案内所的な機能を含め、観光ボランティアの拠点施設として活用できるよう、2023年2月から週2日(火曜・金曜)開放する取り組みを継続している。 	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美濃路稲葉宿本陣跡ひろばの建物について、案内所的な機能を含め、観光ボランティアの拠点施設として活用できるよう、週2日(火曜・金曜)開放する取り組みを継続していく。
			美濃路稲葉宿本陣跡ひろばにおけるガイドの常駐の検討 【後期計画より新規】	市(商工観光課) 市観光協会	中期(3～5年)	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美濃路稲葉宿本陣跡ひろばの建物について、案内所的な機能を含め、観光ボランティアの拠点施設として活用できるよう、2023年2月から週2日(火曜・金曜)開放する取り組みを継続している。 	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美濃路稲葉宿本陣跡ひろばの建物について、案内所的な機能を含め、観光ボランティアの拠点施設として活用できるよう、週2日(火曜・金曜)開放する取り組みを継続していく。
			美濃路稲葉宿本陣跡ひろばにおける資料展示の検討 【後期計画より新規】	市(商工観光課) 市観光協会	中期(3～5年)	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美濃路稲葉宿本陣跡ひろば会議室及び隣室において、関連する資料を設置し、来場者に紹介している。 	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存スペースを活用した展示内容の検討を行う

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
1	⑤ 外国人観光客の受入体制の整備	<p>◆外国人観光客の観光ニーズは多様であり、国籍・文化・宗教等によりきめ細かな対応や受入側の理解が必要になるため、本市の持つ地域資源や文化に対して関心が高い国や属性等について、各種調査等を通じて継続的な把握に努める。</p> <p>◆多言語表記の観光案内看板の設置や多言語に対応した案内ボランティアの研修等の実施を検討する。</p>	<p>多言語ガイドブックの活用 【後期計画より新規】</p>	市観光協会	継続実施	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民ホールのパンフレットコーナーで観光ガイドブック英語版を配布した。 	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光ガイドブック英語版の活用を図る。
			<p>外国人観光客を意識したSNSの発信 【後期計画より新規】</p>	市(商工観光課) 市観光協会	短期(1～3年)	具体的な取組みに至らず	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> Instagram等による情報発信時にハッシュタグでの英語活用を検討する。
			各種調査等による外国人観光客の実態把握	市(商工観光課) 市観光協会	中期(3～5年)	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> アフターコロナにおけるインバウンド需要の回復を見据え、中央日本総合観光機構主催の「観光地域づくり人材育成研修」に参加し、インバウンド誘致に向けた具体的な取組みについて検討してきた。 	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客の受入に向けた取組事項等を整理の上、推進計画の作成に取り組む(ターゲット設定、コンテンツづくり、外国人案内ガイドとのネットワークづくり等)。
			多言語表記の観光案内看板や施設内誘導看板などの整備	市(商工観光課) 市観光協会 商工会 ほか	中期(3～5年)	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規整備なし 	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 稲沢市観光協会公式Webサイトのコンテンツ充実にも取り組んでいく。 <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「そふえいチョウ黄葉まつり」への外国人観光客の受入れを視野に入れ、多言語案内看板の設置や多言語対応可能なWebサイトの開設等を検討していく。
			多言語観光ボランティアガイド育成の検討	市観光協会	中期(3～5年)	実施なし	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当面は国内観光客向けのガイド体制の整備を優先し、人材の育成と確保に取り組んでいく。
			飲食店や宿泊施設などにおける多言語表記の啓発	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 交通事業者	中期(3～5年)	未実施	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> まずは稲沢市内への外国人観光客の来訪促進を図る取り組みを行う。

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
基本方針2 稲沢市の魅力を活用した観光受入体制の整備							
2	① 地域資源の活用と新たな観光資源の発掘	<p>◆従来の観光資源（国府宮はだか祭をはじめとした祭り・イベント、桜、アジサイ、イチョウ黄葉等）に加え、自然、文化、歴史、産業、環境、健康、スポーツなどの様々な地域資源を掘り起こし、これらを活用し、つなぎ、磨き上げることによって、年間を通じて本市の魅力を体験できる着地型観光メニューを創出する。</p> <p>◆観光メニューの創出にあたっては、各地域資源の歴史的背景やこだわりを“ヒト”との交流により伝えていくことで、新たな付加価値を生み出し、満足度の向上を目指す。</p>	<p>既存イベントにおける連携強化</p> <p>地域資源の掘り起こしと活用方法の検討</p>	<p>市（商工観光課） 市観光協会 市観光協議所 商工会 市民団体 大学</p> <p>市（商工観光課） 市（農務課） 市観光協会 市観光協議所 商工会 JA 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者 市民団体 市民個人 大学</p>	<p>継続実施</p> <p>中期（3～5年）</p>	<p>【市・市観光協会・商工会議所・商工会・市民団体】 ・イベント間での情報共有を図り、連携した情報発信に努めることで、年間を通じた観光誘客に繋げてきた。</p> <p>【市観光協会】 ・2024年3月2日・3日開催の「いなざわ梅まつり」において、関係団体との連携の下、特産品販売や「尾張国分寺跡ウォーキングツアー」など、地域の魅力の再発見に繋げる取組を実施する。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・イチョウ黄葉の観賞に訪れた方に向けて、地元飲食店及び土産・特産品店の一覧表と地図を記載したパンフレットを作成し、配布した。また、同情報を商工会の公式Webサイトにも掲載し、PRに努めた。</p> <p>【稲沢イルミネーション実行委員会（市・市観光協会・商工会議所・寺社・農商工業者・大学・いなざわ観光まちづくりラボ）】 ・「稲沢イルミネーション」において、市内の大学・短大や企業・団体等と連携し、「星川楽器マラソンコンサート&キッチンカー」「ストリートピアノ」、プロジェクションマッピング、国府宮参道へのペットポータル展示などの各種イベントを行った。</p> <p>【市】 ・植木・苗木については、市内だけでなく、一宮市のまつりにも出店し販売した。また、いなざわ植木まつりでは、市内の特産品を抽選会の景品とし、PRを行った。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・地域資源「イチョウ・ぎんなん」を活用した通年型商品の開発を検討するため、2020年度まで国の補助事業等を活用して調査・研究を行ってきた。2021年度以降は新規性・斬新性に加えて、確実に商品化できる事業者との連携が求められるようになり、一旦休止して連携先の模索や新たな補助制度などの検討を行っている。 ・また、観光協会主体のご当地グルメ開発の中で、ぎんなんの活用の検討を行っている。</p>	<p>【市・市観光協会・商工会議所・商工会・市民団体】 ・引き続き祭り・イベント間での情報共有を図り、連携した情報発信に努めることで、年間を通じた観光誘客に繋げていく。</p> <p>【市観光協会】 ・引き続き、市内で開催されるイベントや祭りを活用し、地域の魅力の再発見につながる取組を推進していく。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・今後も「そぶえイチョウ黄葉まつり」と連携した事業を各種補助金制度を活用しながら展開し、自然・産業を始めとする稲沢市の資源のPRに努めていく。</p> <p>【稲沢イルミネーション実行委員会（市・市観光協会・商工会議所・寺社・農商工業者・大学・いなざわ観光まちづくりラボ）】 ・今後も市内で活動する団体等と幅広く連携を取りながら、魅力あふれるイベントを展開していく。</p> <p>【市・市観光協会・祖父江町商工会・JA愛知西・農商工業者】 ・祖父江ぎんなんパークにおいて、「そぶえイチョウ黄葉まつり」「祖父江ぎんなんマルシェ」の会場活用を始め、「ぎんなん・歴史・健康」などをテーマに幅広い世代の人々が訪れ、多彩な交流が図れる拠点づくりを進め、「祖父江ぎんなん」ブランドの更なる向上を目指す。</p> <p>【市・市観光協会】 ・「祖父江ぎんなん街道」の認知度を高め、現地への誘客に繋げるため、関係者に観光面での活用を働き掛ける。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・「祖父江ぎんなん街道」の認定を活用して、ぎんなんを使った菓子、料理を始め、黄金色に染まる景色を楽しんでもらえるよう情報発信に努めていく。 ・地域資源「イチョウ・ぎんなん」の更なる掘り起こし、高齢化・後継者不足による生産者減少の食い止め、銀杏の小粒化・不作を補完する通年型商品開発への対応に努めていく。これまでの調査・研究の結果を基に、引き続き各団体と広く意見交換を行っていく。 ・地域資源「イチョウ・ぎんなん」の更なる掘り起こし、高齢化・後継者不足による生産者減少の食い止め、銀杏の小粒化・不作を補完する通年型商品開発への対応に努めていく。これまでの調査・研究の結果を基に、引き続き各団体と広く意見交換を行っていく。</p>

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
2	① 地域資源の活用と新たな観光資源の発掘	<p>◆従来の観光資源（国府宮はだか祭をはじめとした祭り・イベント、桜、アジサイ、イチヨウ黄葉等）に加え、自然、文化、歴史、産業、環境、健康、スポーツなどの様々な地域資源を掘り起こし、これらを活用し、つなぎ、磨き上げることによって、年間を通じて本市の魅力を体験できる着地型観光メニューを創出していく。</p> <p>◆メニューの創出にあたっては、各地域資源の歴史的背景やこだわりを“ヒト”との交流により伝えていくことで、新たな付加価値を生み出し、満足度の向上を目指す。</p>	地域資源の掘り起こしと活用方法の検討	市（商工観光課） 市（農務課） 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者 市民団体 市民個人 大学	中期（3～5年）	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祖父江ぎんなんパークにおいて、「祖父江ぎんなんマルシェ」への出展や稲沢まちゼミでの「ぎんなんマイスターになろう！」など、来訪者にイチヨウ黄葉の魅力を体感してもらえる取組を行った。 ・「信長公生誕の地・勝幡城跡」をPRするため、御城印を稲沢市観光協会ほか市内2カ所で開催したほか、「お城EXPO 2023」及び「につぼん城まつり2024 feat.出張！お城EXPO in 愛知」で来場記念特別御城印を販売した。 <p>【市観光協会・大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋文理大学フードビジネス学科と稲沢市観光協会が連携し、新たなご当地グルメ（稲沢カレー）の魅力づくりに取り組んできた。 	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光資源の有効活用に向けて、来訪者視点を踏まえた積極的な提言を行っていく <p>【市観光協会・大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋文理大学フードビジネス学科との連携を強化し、ご当地グルメ（稲沢カレー）のさらなる魅力づくりに取り組んでいく。
			着地型観光メニューの創出	市（商工観光課） 市観光協会 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者 市民団体	中期（3～5年）	<p>【市・市観光協会・稲沢商工会議所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲沢商工会議所が主催する「稲沢まちゼミ」に参加し、着地型観光プラン「ぎんなんマイスターになろう！」を昨年度に引き続き実施した。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員事業者やいなざわ観光まちづくりラボメンバー、観光ボランティアガイドとの連携の下、市内及び近郊エリアをターゲットとした着地型観光プログラムを創出し、商品化に取り組んだ。 1.木曾川で気軽にSUP体験 2.マカイビーチでウインドサーフィンに挑戦！ 3.バナナもぎとり体験 4.苔玉づくり体験 <p>【市・市観光協会・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知・名古屋観光誘客協議会が夏期に展開した「あいち冷やし旅」キャンペーンに「パッションフルーツもぎとり体験」を提供した。 <p>【市・市観光協会・市民団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知・名古屋観光誘客協議会が夏期に展開した「あいち冷やし旅」キャンペーンに参画し、サリオパーク祖父江でのSUP体験を提供した。 	<p>【市・市観光協会・祖父江町商工会・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祖父江ぎんなんパークを活用し、イチヨウの花の観察やぎんなん収穫体験など、イチヨウ黄葉見学以外の新たな楽しみ方を提案していく。 <p>【市・市観光協会・市民団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内で楽しめるアクティビティ体験を観光メニューとして活用できるよう、商品化に繋げる。また、流通ルートを開拓し、若者やファミリー層を主要なターゲットとして誘客を図る。加えて、いなざわ観光まちづくりラボとの協働により、新たなメニューの創出にも取り組んでいく。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲沢市の地域資源を活用した着地型体験プログラムを新たに創出し、市内及び近郊エリアからの誘客に取り組む。
②	観光ルートの創出・ストーリーづくり	◆年齢、性別、グループといった基本属性、テーマ、季節など、マーケットのニーズに応じて様々な観光資源をつなげたモデルルートを創出する。	自然や歴史文化等の地域資源を組み合わせた観光ルートの設定	市（商工観光課） 市観光協会	短期（1～3年）	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名鉄ハイキングコースに尾張大國霊神社、長光寺、亀翁寺を組み入れて実施した。（5月20日、21日） ・祖父江イチヨウ黄葉のPRIに際し、稲沢市荻須記念美術館、善光寺東海別院、ぎんなん料理店等を組み合わせた観光ルートを設定し、観光商談会の際に旅行事業者へ提案した。 <p>【市観光協会（いなざわ観光まちづくりラボ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いなざわ梅まつり」の開催に合わせて、矢合地区内の文化財や梅園等の名所を巡りながら楽しくウォーキングするイベント「やわせてくウォーキング♪」をラボ主催で実施する。（2024年3月3日開催予定） 	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節毎の花や風景、祭り、美濃路や勝幡城跡、神社・仏閣等の歴史文化を組み合わせたテーマ性やストーリー性のある観光ルートを創出し、稲沢市観光協会の公式Webサイト内で紹介することで、来訪者のサービス向上に繋げていく。 <p>【市観光協会（いなざわ観光まちづくりラボ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やわせ！てくてくウォーキング♪」をラボ主催で継続実施する。

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
2	② 観光ルートの創出・ストーリーづくり	◆年齢、性別、グループといった基本属性、テーマ、季節など、マーケットのニーズに応じて様々な観光資源をつなげたモデルルートを創出する。	JAFと連携したドライブルートの設定	市(商工観光課) 市観光協会 交通事業者	短期(1～3年)	・実施なし	【市】 ・「稲沢あじさいまつり」においてJAF会員優待特典を活用することで、自動車ユーザーの誘客に繋げていく。 【市・市観光協会】 ・JAFとの観光連携協定を活用し、新たな周遊ドライブコースの設定及びJAF広報誌等での観光資源のPRに取り組んでいく。
			武將観光ルートの創出	市(商工観光課) 市観光協会	中期(3～5年)	・実施なし ・実施なし	【市・市観光協会】 ・市内に残る城跡などが巡れるような城跡巡りマップの作成を検討する。 ・NHK大河ドラマ「光る君へ」に登場する赤染衛門にスポットを当て、赤染衛門歌碑公園への誘客促進を図るための現地ガイド案内プランが実施できるよう取り組む。
			市内企業・事業者と連携した産業観光ルートの設定	市(商工観光課) 市観光協会 商会議所 商工会 農商工業者	中期(3～5年)	【市観光協会】 ・産業観光ルートではなく、各事業者が提供する着地型プランとして設定し、PRIに努めた。(稲沢フルーツ園、木村農園、明治ファクトリー愛知など) ・名鉄ハイキングコースに、JR貨物愛知機関区を組み入れて実施した。(5月20日、21日) 【平和町商工会・農商工業者】 ・「へいわさくらまつり」の開催に合わせて「明治なるほどファクトリー愛知」の自由見学会を実施しようと企画したが、新型コロナウイルスの影響により工場見学ができないう状況となった。 【祖父江町商工会】 ・地元飲食店及び土産・特産品店の一覧表と地図を記載したパンフレットを作成し、配布した。また、同情報を商工会の公式Webサイトにも掲載し、情報発信した。	【市観光協会・農商工業者】 ・産業観光受入施設をつないだ産業観光ルートを開発するという考え方ではなく、それぞれが独立した着地型プランとして設定していく。 【市・市観光協会】 ・「祖父江ぎんなん街道」の認知度を高め、現地への誘客に繋げるため、関係者に観光面での活用を働き掛ける。 【祖父江町商工会】 ・「祖父江ぎんなん街道」の認定を活用して、ぎんなんを使った菓子、料理を始め、黄金色に染まる景色を楽しんでもらえるように情報発信に努めていく。 【平和町商工会・農商工業者】 ・「へいわさくらまつり」の開催に合わせて「明治なるほどファクトリー愛知」の自由見学会について、次年度以降も計画していく。
			近隣市町と連携した広域周遊ルートの設定	市(商工観光課) 市観光協会	中期(3～5年)	・実施なし	【市観光協会】 ・テーマごとに近隣市町との広域周遊ルート開発を目指す。 【市・市観光協会】 ・美濃路街道連携協議会の加盟自治体(一宮市など)や信長公ゆかりの資源を有する近隣市町(愛西市、津島市、清須市など)を始め、本市と共通のテーマ・資源を持つ地域と連携し、新たな広域周遊ルートを創出することで、相乗的な誘客を目指す。

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
2	③ 武将観光の推進	<p>◆織田信長の生誕地説が有力である勝幡城を核とし、武将観光イベント等への参加を通じて「信長生誕の地」として勝幡城域を共有する愛西市と連携し、本市の魅力国内外に積極的にPRする。</p> <p>◆取り組みに際しては、有識者や歴史文化の保全・PRに取り組む地域の方々、武将観光を推進する愛知県や他自治体とも連携を強化し、事業を推進し、勝幡城跡を核とした誘客の手法について検討する。</p>	<p>武将観光関連イベントへの出展・PR</p> <p>「信長生誕の地」プロモーション事業の展開</p> <p>関係機関との連携による武将観光の推進</p> <p>稲沢市出身武将の関係地域と連携した事業の展開 【後期計画より新規】</p> <p>武将観光ルートの創出 (基本方針2-②再掲)</p> <p>勝幡城跡を核とした武将観光施設整備等の誘客促進方策の検討 【後期計画より新規】</p>	<p>市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 市民団体</p> <p>市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 市民団体</p> <p>市(商工観光課) 県 市観光協会 県観光協会 観光事業者</p> <p>市(商工観光課) 市観光協会</p> <p>市(商工観光課) 市観光協会</p> <p>市(商工観光課) 市観光協会</p>	<p>継続実施</p> <p>継続実施</p> <p>中期(3~5年)</p> <p>中期(3~5年)</p> <p>中期(3~5年)</p> <p>中期(3~5年)</p> <p>中期(3~5年)</p>	<p>【市・市観光協会】 ・愛西市及び愛西市観光協会と共同で「信長公生誕の地・勝幡城跡」のPRのため、県内外の武将観光・お城観光イベントに積極的に参加した。 1.「お城EXPO 2023」に出展。 (12月16日・17日/パシフィコ横浜ノース) (来場記念特別御城印の販売、勝幡城CG復元動画の放映など) 2.「につぼん城まつり2024 feat.出張！お城EXPO in愛知」に出展予定。 (2024年3月2日・3日/吹上ホール) (来場記念特別御城印の販売、勝幡城CG復元動画の放映など)</p> <p>【市・市観光協会】 ・愛知のお城観光推進協議会及び愛知県大河ドラマ「どうする家康」観光推進協議会への参画を通じて、愛知県等と連携し、観光展への資料提供によるプロモーション活動を行った。</p> <p>【市・市観光協会】 ・愛西市との連携により、武将観光・お城観光イベントへの出展や御城印の販売など、「勝幡城跡」を核とする武将観光・お城観光の推進に取り組んだ。 ・2023年大河ドラマ「どうする家康」の放送を契機に、「徳川家康ゆかりの地」及び「武将のふるさと愛知」を広く全国に情報発信するとともに、観光振興による地域の活性化を図ることを目的として愛知県が設置した「愛知県大河ドラマ『どうする家康』観光推進協議会」に参画した。</p> <p>具体的な取組みなし</p> <p>・実施なし</p> <p>・実施なし</p> <p>具体的な取組みなし</p>	<p>【市・市観光協会】 ・引き続き愛西市及び愛西市観光協会と連携しながら、県内外の武将観光・お城観光イベントに参加する。 ・観光ガイドBOOK「信長と稲沢」に加え、「勝幡城跡」の御城印販売やCG復元動画を活用しながら、市民や地域の歴史関係者とも連携したインパクトのあるPR活動を展開していく。</p> <p>【市観光協会】 ・「信長公生誕の地・勝幡城」を含む近隣エリアの信長公ゆかりの地を巡る新たな観光ルートを創出する。 【市・市観光協会】 ・NHK大河ドラマ「光る君へ」に登場する赤染衛門にスポットを当て、赤染衛門歌碑公園への誘客促進を図るための現地ガイド案内プランが実施できるよう取り組む。 ・あいちの歴史観光推進協議会への参画を通じて、愛知県や愛知県観光協会、県内市町村等と連携した武将観光・お城観光を推進し、「信長公生誕地・稲沢市」の認知度向上と観光誘客に繋がるプロモーション活動を積極的に展開していく。</p> <p>【市・市観光協会】 ・愛西市との連携を更に深め、両市による御城印販売やPR活動など、勝幡城跡を核とする武将観光・お城観光の取組を引き続き展開していく。 ・信長公にゆかりのある自治体との関係づくりに取り組むことで、連携した武将観光メニューの創出と将来的な広域連携組織への参画を視野に入れていく。</p> <p>【市・市観光協会】 ・稲沢市出身武将の掘り起こしを行い、事業内容の検討を行っていく。</p> <p>【市・市観光協会】 ・市内に残る城跡などが巡れるような城跡巡りマップの作成を検討する。 ・NHK大河ドラマ「光る君へ」に登場する赤染衛門にスポットを当て、赤染衛門歌碑公園への誘客促進を図るための現地ガイド案内プランが実施できるよう取り組む。</p> <p>【市】 ・類似事例の調査を実施し、事業の検討を行っていく。</p>

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
2	④ 四季の地域資源を活用したまつり・イベントの開催	<p>◆国府宮はだか祭、さくらまつり、植木まつり、あじさいまつり、サンドフェスタ、イチョウ黄葉まつりなど、季節や地域の魅力を伝えることができる祭り・イベントを持続的に開催できるよう支援を行う。</p> <p>◆これらの既存イベントに加え、特産品を活用した食のイベントや体験型イベントなど、地域の魅力をつなぎ、来訪者が気軽に楽しめる新たなイベントを地域とともに創出し、来訪者の増加を図る。</p>	稲沢桜まつり/国府宮桜ライトアップ・へいわさくらまつり	商工会議所 商工会	短期(1～3年)	<p>【稲沢商工会議所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年3月31日から10日までの期間、国府宮参道で「国府宮桜ライトアップ2023」として開催。 <p>【平和町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年ぶりに4月1日に稲沢市平和町体育館及びその周辺で各種イベントや大学の桜グルメPR等の各種ブースを設置し開催した。 (来場者数:7,000人) 	<p>【稲沢商工会議所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年の開催予定なし <p>【平和町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年3月29日～4月6日を期間として平和町商工会館駐車場及びその周辺で開催予定。メインイベントを3月30日に開催。
			いなざわ植木まつり	市(農務課)	短期(1～3年)	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月20日から29日まで国府宮参道で開催した。植木・苗木の販売に加え、グリーンマルシェや体験講座、キッチンカーの準備をし、家族3世代で楽しめるまつりとして開催した。また、植木・苗木の購入者を対象に、市内農産加工品等が当たる抽選会を実施し、稲沢の農業全体のPRを行った。 (期間中來場者数:43,300人) 	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年4月20日から29日まで国府宮参道で開催予定。植木・苗木の即売をメインとしつつ、緑に親しむ祭りとして幅広い世代の方に来場していただけるよう、各種イベントを検討していく。
			稲沢あじさいまつり	市(商工観光課)	短期(1～3年)	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月1日から18日までの期間、大塚性海寺歴史公園及び性海寺で開催。臨時駐車場や案内看板の設置、警備員の配置等を行い、受入環境の整備に努めるとともに、会場周辺の飲食店マップを作成し、周遊促進を図った。新たに稲沢東高校、近隣商業施設の協力により臨時駐車場を増やし、来場者の利便を図った。 (期間中の来訪観賞者数:49,000人) 	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年6月1日から16日までの期間、大塚性海寺歴史公園及び性海寺で開催予定。園内の美しい風景づくりに焦点を当てて取り組んでいく。会場周辺の飲食店マップの作成は継続して行う予定。
			稲沢夏まつり	市民団体	短期(1～3年)	<p>【稲沢夏まつり実行委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月26日にサリオパーク祖父江で開催。公園周辺での道路工事のため会場駐車場は設置せず、シャトルバスを市役所、平和支所、JA愛知西朝日支店(尾西)、森上駅～会場間の4コース運行し、バスによる来場を呼びかけた。 (来場者数:55,000人) 	<p>【稲沢夏まつり実行委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年8月末にサリオパーク祖父江で開催予定。
			稲沢サンドフェスタ	市(都市整備課)	短期(1～3年)	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月7日から11月3日までサリオパーク祖父江で開催。メインイベント開催日である10月7・8日には砂の造形展(大型砂像の展示)やサンドアート体験コーナーに加え、サンドフェスタ第35回の節目であることから歴代の砂像展示を行った。(期間中の来場者数:37,949人) 	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年10月12日から11月4日までの期間、サリオパーク祖父江で開催予定。限られた予算の中で、集客と満足度の維持に努めていく。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘客効果を相乗的に高めるため、「稲沢サンドフェスタ」と「そぶえいチョウ黄葉まつり」の開催期間の調整を関係者に働き掛けていく。
			稲沢まつり	商工会議所	短期(1～3年)	<p>【稲沢商工会議所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月21日、22日に国府宮参道、名古屋文理大学文化フォーラムほかで開催。 	<p>【稲沢商工会議所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年10月19日、20日に国府宮参道、名古屋文理大学文化フォーラムほかで開催予定。

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
2	④ 四季の地域資源を活用したまつり・イベントの開催	<p>◆国府宮はだか祭、さくらまつり、植木まつり、あじさいまつり、サンドフェスタ、イチョウ黄葉まつりなど、季節や地域の魅力を伝えることができる祭り・イベントを持続的に開催できるよう支援を行う。</p> <p>◆これらの既存イベントに加え、特産品を活用した食のイベントや体験型イベントなど、地域の魅力をつなぎ、来訪者が気軽に楽しめる新たなイベントを地域とともに創出し、来訪者の増加を図る。</p>	そぶえイチョウ黄葉まつり	商工会	短期(1～3年)	<p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月18日～26日の間、祖父江ぎんなんパーク及び祐専寺周辺で、開催することができた。 ・周辺道路を歩行者専用道路に指定し、臨時駐車場、仮設トイレ、案内看板の設置、警備員の配置、黄葉情報の発信等を行い、受入環境の整備に努めた。 （11月18日～26日の来訪観賞者数：271,000人） ※「ライトアップ」の来場者数を含む。 	<p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月下旬に祖父江ぎんなんパーク及び祐専寺周辺で開催予定。来場者楽しんでいただけるイベントづくりを検討していく。 【市観光協会】 ・「そぶえイチョウ黄葉まつり」の開催期間中にバスツアーで訪れる旅行者に対して、祖父江イチョウ黄葉の魅力をしっかり伝えるため、現地ガイドを始めとする受入体制の充実に努めていく。また、祖父江ぎんなんパークの活用につながるよう、団体ツアー客以外も対象としたガイド体制の構築にも取り組んでいく。
			稲沢イルミネーション 【後期計画より新規】	市(商工観光課)	短期(1～3年)	<p>【稲沢イルミネーション実行委員会(市・市観光協会・商工会議所・寺社・農商工業者・大学・いなざわ観光まちづくりラボ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の大学・短大や企業・団体、行政等が連携し、「稲沢イルミネーション」を国府宮参道等で開催した。 (11月11日～12月25日・来場者数：18,000人) 	<p>【稲沢イルミネーション実行委員会(市・市観光協会・商工会議所・寺社・農商工業者・大学・いなざわ観光まちづくりラボ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年の開催未定。
			国府宮はだか祭	寺社	短期(1～3年)	<p>【尾張大國霊神社(国府宮)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尾張大國霊神社(国府宮)で催進神事を開催。裸男によるなおい笹奉納やもみ合いを実施した。 (2024年2月22日) (当日参拝者数：人、裸男：7,500人) 	<p>【尾張大國霊神社(国府宮)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025年2月10日に尾張大國霊神社(国府宮)で開催予定。
			いなざわ梅まつり	市観光協会	短期(1～3年)	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県植木センターで開催。集客力の高いステージイベントに観光PR大使のはやたくも新たに登場。会場内での飲食や特産品販売も含め、いなざわ梅まつりを楽しんでいただけるよう開催する。駐車場の混雑が予想されるため、シャトルバスの運行も実施。 (2024年3月2日・3日) 	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025年3月上旬に愛知県植木センターで開催予定。ラボメンバーとも連携し、イベントの開催に合わせて周辺の観光スポットも楽しめる企画を設定する。
			既存イベントのあり方検討 【後期計画より新規】	市(商工観光課) 市(農務課) 市(都市整備課) 市観光協会 商工会議所 商工会 市民団体	中期(3～5年)	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンドフェスタについては稲沢サンドフェスタ実行委員会、サリオパーク祖父江のイベントに関してはサリオパーク祖父江イベント実行委員会において、イベント等の検討を行った。 	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンドフェスタについては稲沢サンドフェスタ実行委員会、サリオパーク祖父江のイベントに関してはサリオパーク祖父江イベント実行委員会において、引き続きイベント等の検討を行っていく。
			地域が主体となったイベントの開催	市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 商工会 農商工業者 市民団体 大学	中期(3～5年)	<p>【稲沢イルミネーション実行委員会(市・市観光協会・商工会議所・寺社・農商工業者・大学・いなざわ観光まちづくりラボ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の大学・短大や企業・団体、行政等が連携し、「稲沢イルミネーション」を国府宮参道等で開催した。 (11月11日～12月25日・来場者数：18,000人) 	<p>【稲沢イルミネーション実行委員会(市・市観光協会・商工会議所・寺社・農商工業者・大学・いなざわ観光まちづくりラボ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年の開催未定。

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
2	④ 四季の地域資源を活用したまつり・イベントの開催	<p>◆国府宮はだか祭、さくらまつり、植木まつり、あじさいまつり、サンドフェスタ、イチョウ黄葉まつりなど、季節や地域の魅力を伝えることができる祭り・イベントを持続的に開催できるよう支援を行う。</p> <p>◆これらの既存イベントに加え、特産品を活用した食のイベントや体験型イベントなど、地域の魅力をつなぎ、来訪者が気軽に楽しめる新たなイベントを地域とともに創出し、来訪者の増加を図る。</p>	地域が主体となったイベントの開催	市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 商工会 農商工業者 市民団体 大学	中期(3～5年)	<p>【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラボ主催で観光まちづくりイベントを開催した。 1.ワンコインチャリティー四季の詩(6月16日、8月16日、12月16日、2月16日) (開催場所:稲沢市産業会館、矢合観音) 2.美濃路稲葉宿元気マルシェ(5月13日、12月3日) (開催場所:美濃路稲葉宿本陣跡ひろば) 3.やわせてく〜クワ〜キング♪(2024年3月3日) (開催場所:尾張国分寺跡ほか) 4.講演会と仏像拝観(10月1日) (開催場所:無量光院) <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祖父江ぎんなんパークで、ぎんなんグルメや和菓子、農産物、軽食、ドリンクの販売ブースが出店する「祖父江ぎんなんマルシェ」を開催した。 (6月17日、8月19日、10月28日、拡大版11月27日～29日・来場者数:累計17,000人) <p>【市民団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いなざわ観光まちづくりラボメンバーが所属する団体「mizube38」が中心となり、サリオパーク祖父江で木曾川の大自然の中でのアクティビティや体験、遊びを楽しんでもらうイベント「MAKAI BEACH FESTIVAL」は、2023年は開催中止となった。 	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いなざわ観光まちづくりラボが主体となって企画したイベントの開催支援に努めていく。 <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度以降も「祖父江ぎんなんマルシェ」を定期開催していく。また、活用可能な補助金を探すなど、新たな地域イベントの実施に向けた取組も推進していく。 <p>【平和町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市等の関係団体に加え、まちづくり推進協議会とも協議し、地域特有の新たなイベントの創出を検討していく。
2	⑤ “農”を活用した体験型観光メニューの創出	<p>◆「祖父江ぎんなん」のさらなるブランド力の向上を目指して、代表4品種である「久寿」「金兵衛」「栄神」及び「藤九郎」の保全を行い、広く銀杏を県内外にPRする場として整備された「祖父江ぎんなんパーク」を、そぶえイチョウ黄葉まつり、マルシェイベントの開催などを通じて、新たな市内名所として活用する。</p> <p>◆地域との連携により、田植え・稲刈り等の農業体験や自然環境学習が行える“農”を活用した体験型メニューの創出に取り組むとともに、市内外の方が気軽に参加できる農業体験農園を開発しようとする農業者、民間企業等の発掘を推進し、情報発信にも努める。</p>	地域と連携した農業体験メニューの創出	市(商工観光課) 市(農務課) 市(環境保全課) 市観光協会 農商工業者 市民団体	短期(1～3年)	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「椿園」「稲沢フルーツ園」など見学受入可能施設を旅行商品に組み込んでもらえるよう、企画提案資料を作成し、旅行事業者との観光商談会でPRを行った。 ・稲沢商工会議所が主催する「稲沢まちゼミ」に参加し、着地型観光プラン「ぎんなんマイスターになろう!」を昨年度に引き続き実施した。イチョウ黄葉のガイド付き散策に加え、祖父江町商工会とJA愛知西の協力を得て、ぎんなん落とし体験をプログラムへ取り入れた。 <p>【市・市観光協会・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知・名古屋観光誘客協議会が夏期に展開した「あいち冷やし旅」キャンペーンに稲沢フルーツ園が参画し、「パッションフルーツもぎとり体験」を提供した。 <p>【市・市民団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人祖父江のホタルを守る会の実験田で計2回自然観察会を実施した。 9月30日 田んぼの中の生き物観察(参加者27名) 10月22日 稲刈り体験(参加者102名) ※6月12日にも自然観察会(田植え体験)を予定していたが、雨天のため中止。 	<p>【市・市観光協会・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農園見学、収穫体験など個々に実施されているものの、観光メニューとして活用されていないコンテンツが市内に潜在しているため、関係事業者への働き掛けやいなざわ観光まちづくりラボとの連携により、新たなメニューの創出に取り組んでいく。 <p>【市・市観光協会・祖父江町商工会・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祖父江ぎんなんパークを活用し、イチョウの花の観察やぎんなん収穫体験など、イチョウ黄葉見学以外の新たな楽しみ方を提案していく。 <p>【市・市民団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人祖父江のホタルを守る会の実験田で2024年6月9日、10月5日、10月20日の計3回自然観察会を開催予定。
			農業体験農園の整備、農業体験の場の提供	市(農務課) JA 農商工業者	短期(1～3年)	<p>【市・JA愛知西】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA愛知西、稲沢市、一宮市の共同運営による「はつらつ農業塾」を受講生のニーズにあわせ、2コース(生きがい農業コース・担い手育成コース)、2会場(稲沢会場・一宮会場)にて実施した。 稲沢会場参加者…生きがい農業コース34名、担い手育成コース4名。 	<p>【市・JA愛知西】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA愛知西、一宮市、稲沢市の共同運営による「はつらつ農業塾」運営協議会を開催し、今後の運営方法について協議していく。 ・産直店舗稲沢一色下方店に併設するJA農場にて「とうもろこし」の収穫体験を計画する。 <p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民農園や農業体験農園等の現状把握及び今後開設しようとする農業者の発掘に努める。また、既に取組を実施している農業者団体に対して、受入れの意思がある場合は、市民向け広報を中心に活動を支援していく。 <p>【市・市観光協会・祖父江町商工会・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祖父江ぎんなんパークにおいて、ぎんなん収穫体験の場を提供していく。

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
2	⑤ “農”を活用した体験型観光メニューの創出	<p>◆「祖父江ぎんなん」のさらなるブランド力の向上を目指して、代表4品種である「久寿」「金兵衛」「栄神」及び「藤九郎」の保全を行い、広く銀杏を県内外にPRする場として整備された「祖父江ぎんなんパーク」を、そぶえイチョウ黄葉まつり、マルシェイベントの開催などを通じて、新たな市内名所として活用する。</p> <p>◆地域との連携により、田植え・稲刈り等の農業体験や自然環境学習が行える“農”を活用した体験型メニューの創出に取り組むとともに、市内外の方が気軽に参加できる農業体験農園を開発しようとする農業者、民間企業等の発掘を推進し、情報発信にも努める。</p>	<p>植木・苗木、祖父江ぎんなん等の農産品の販売拡充</p>	<p>市（農務課） 市観光協会 商工会 JA 農商工業者</p>	<p>短期(1～3年)</p>	<p>【市・農商工業者】 ・植木・苗木については、市内だけでなく、一宮市のまつりにも出店し販売した。また、いなざわ植木まつりでは、市内の特産品を抽選会の景品とし、PRを行った。</p> <p>【市観光協会・農商工業者】 ・バレーボール等の試合会場である豊田合成記念体育館（エンドリオ）、いなざわ観光まちづくりラボ主催イベント「美濃路稲葉宿元気マルシェ」と「ワンコインチャリティー四季の詩」の会場でも市内の農産品販売を行った。「いなざわ梅まつり」の会場でも販売ブースを設ける。</p> <p>【祖父江町商工会・農商工業者】 ・「そぶえイチョウ黄葉まつり」及びまつりに引き続き開催した「祖父江ぎんなんマルシェ拡大版」を活用し、県内外から訪れた来場者に対して、ぎんなんとぎんなん加工品のPR販売を行った。 ・10月20・21日に金山駅において「商工会あいち物産店」に出店し、ぎんなんとぎんなん加工品のPR販売を行った。</p> <p>【祖父江ぎんなんブランド推進協議会（JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農商工業者）】 ・「祖父江ぎんなん」の魅力発信と販売強化による消費拡大及びクレーム防止を目的に、愛知県農業生産力強化支援事業による産地戦略に基づき、「レンビ・保存方法」のリーフレット、「ぎんなんは生鮮食品です」チラシの作成に取り組んだ。作成したリーフレット等は通信販売やイベント販売時に活用した。</p> <p>【JA愛知西】 ・11月に開催したJA地産地消まつりにて「祖父江ぎんなん」のつかみ取りを行っていただき消費角拡大のPRを行った。</p>	<p>【市・農商工業者】 ・市外のまつりにも引き続き出店し、植木・苗木の販売拡充に繋げていく。</p> <p>【市・市観光協会】 ・県内外の観光イベントや観光物産展において、祖父江イチョウ黄葉のPRと合わせて、ぎんなんの販売を行っている。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・「そぶえイチョウ黄葉まつり」及び「祖父江ぎんなんマルシェ」を活用して、今後もぎんなんとぎんなん加工品のPR販売を行っていく。</p> <p>【祖父江ぎんなんブランド推進協議会（JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農商工業者）】 ・協議会の公式Webサイトでイベント・販売情報を発信するなど、更なる知名度向上と消費拡大を目指し、地域一体となって「祖父江ぎんなん」の魅力PRしていく。</p> <p>・「祖父江ぎんなん」の産地が抱えるボトルネックについて、あいち農業高度化プランナー事業に基づき、派遣プランナーから他業種のノウハウや他県の事例を踏まえた視点により改善提案を受けた取組（売上増に繋がる施策）を進めていく。</p> <p>【JA愛知西】 ・JA地産地消まつりにて「祖父江ぎんなん」の消費拡大PRを行う。</p>
			<p>「祖父江ぎんなんパーク」を活用したイベントの展開 【後期計画より新規】</p>	<p>市（農務課） 市観光協会 商工会 JA 農商工業者</p>	<p>短期(1～3年)</p>	<p>【市・祖父江町商工会】 祖父江ぎんなんパークにおいて、「そぶえイチョウ黄葉まつり」「祖父江ぎんなんマルシェ」を開催した。</p>	<p>【市・市観光協会・祖父江町商工会・JA愛知西・農商工業者】 ・祖父江ぎんなんパークにおいて、「そぶえイチョウ黄葉まつり」「祖父江ぎんなんマルシェ」の会場活用を始め、「ぎんなん・歴史・健康」などをテーマに幅広い世代の人々が訪れ、多彩な交流が図れる拠点づくりを進め、「祖父江ぎんなん」ブランドの更なる向上を目指す。</p> <p>【市・市観光協会・祖父江町商工会・農商工業者】 ・祖父江ぎんなんパークを活用し、イチョウの花の観察やぎんなん収穫体験など、イチョウ黄葉見学以外の新たな楽しみ方を提案していく。</p>
			<p>環境学習会（自然観察会）の開催</p>	<p>市（環境保全課） 国</p>	<p>短期(1～3年)</p>	<p>【市】 ・自然観察会（植物・昆虫・野鳥の観察）を計2回開催した。 （5月20日・参加者数：35名） （7月22日・参加者数：34名）</p>	<p>【市】 ・2024年5月18日、7月20日に自然観察会を開催予定。開催時間は午前9時～11時。</p>
			<p>サリオパーク祖父江の特色を活かしたSUP等体験型観光の推進</p>	<p>市（商工観光課） 市（都市整備課） 国・県 市観光協会</p>	<p>短期(1～3年)</p>	<p>【市・市観光協会・市民団体】 ・サリオパーク祖父江で実施されているSUP、ウインドサーフィンなどのアクティビティ体験を観光メニューの着地型プランとして設定した。初心者向けのハード面での受入体制づくりが今後の課題である。</p>	<p>【市・市観光協会・市民団体】 ・サリオパーク祖父江でのアクティビティ体験について、観光メニューとしての活用を図り、商品化に繋げていく。また、流通ルートを開拓し、若者やファミリー層を主要なターゲットとして誘客を図る。加えて、いなざわ観光まちづくりラボとの協働により、新たなメニューの創出にも取り組んでいく。</p>

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
2	⑥ サリオパーク祖父江を核とした体験型観光の推進	◆毎年多くの賑わいと交流が生み出されている稲沢夏まつり、稲沢サンドフェスタや東海シクロクロス大会、絶滅危惧種の野鳥類をはじめ貴重な生物の生息観察ができる環境学習会（自然観察会）などの催しをさらに磨き上げるとともに、国・県との連携の下、ウインドサーフィンやSUPなどの水上スポーツ、バーベキューや砂丘を活用した体験型イベントなど、サリオパーク祖父江の特色を活かした「ここでしかできない」自然体験型の観光メニューを創出し、年間を通じた集客へとつなげていく。	サリオパーク祖父江の特色を活かしたSUP等体験型観光の推進	市(商工観光課) 市(都市整備課) 国・県 市観光協会	短期(1～3年)	【市・国・県・市観光協会・市民団体】 ・サリオパーク祖父江の活性化、年間を通じた誘客に向けて、「サリオパーク祖父江イベント実行委員会」を中心に、当地の特色を活かした多様なイベントを企画した。 【市民団体】 ・いなざわ観光まちづくりラボメンバーが所属する団体「mizube38」が中心となり、サリオパーク祖父江で木曾川の大自然の中でアクティビティや体験、遊びを楽しんでもらうイベント「MAKAI BEACH FESTIVAL」は、2023年は開催中止となった。	【市・国・県・市観光協会・市民団体】 ・「サリオパーク祖父江イベント実行委員会」を中心に、3公園の特色を活かした多様なイベント企画を通年で展開していく。 【市観光協会】 ・サリオパーク祖父江を稲沢市の観光拠点として有効活用していくため、市外からの誘客を視野に入れた積極的な提言を行っていく。
			サリオパーク祖父江における適切な公園機能の充実と周辺道路の整備	市(都市整備課) 国・県	中期(3～5年)	【市】 ・国営木曾三川公園ワイルドネイチャープラザ入口南側に環状交差点(ラウンドアバウト)が9月29日に供用開始。 ・道路整備に合わせた3公園の一体利用の促進に向けて、祖父江3公園整備運営協議会で協議を進めている。	【市】 ・道路整備に合わせた3公園の一体利用の促進に向けて、祖父江3公園整備運営協議会で引き続き協議していく。
			サリオパーク祖父江で開催されるイベント等との連携、PR協力 【後期計画より新規】	市(商工観光課) 市(都市整備課) 国・県 市観光協会	中期(3～5年)	【市】 ・「サリオパーク祖父江イベント実行委員会」を通じて、サンドフェスタなどのイベントとの連携やPR協力を行った。取組実績としては、サンドフェスタのポスター・チラシ印刷と発送を「サリオパーク祖父江イベント実行委員会」と共同で行った。	【市】 ・「サリオパーク祖父江イベント実行委員会」を通じて、サンドフェスタなどのイベントとの連携やPR協力を引き続き行っていく。
2	⑦ 産業観光の推進	◆農商工業に関連する技術や生産地、工業施設など、産業を観光資源として活用し、本市の製品を国内外へPRするとともに、生産者が来訪者と交流することで、産業技術の継承、雇用の確保、新たな製品開発等を促し、地域産業の振興を図る。 ◆本市の都市イメージとして印象強い「植木産業」をはじめ、本市の地場産業の技術を活用したイベント、伝統技術や最先端の工業技術を活用した体験会・見学会等を観光的側面も含めて実施することで、誘客の促進を図るとともに、本市の優れた製品や技術を国内外にPRする。	見学受入可能施設の掘り起こし	市(商工観光課) 市(農務課) 市観光協会 商工会議所 商工会	短期(1～3年)	【市観光協会】 ・産業観光ルートではなく、各事業者が提供する着地型プランとして設定し、PRに努めた。(稲沢フルーツ園、木村農園、明治ファクトリー愛知など) ・名鉄ハイキングコースに、JR貨物愛知機関区を組み入れて実施した。(5月20日、21日) 【稲沢商工会議所】 ・9月から10月にかけて開催した「稲沢まちゼミ」の参加事業者の中から、産業観光に関わることができる事業者の掘り起こしを行っている。	【市】 ・見学可能な圃場農園を保有しており、受入意思が確認できた場合は、市の関係団体への所属に関わらず稲沢市公式Webサイトで公表することを検討する。 【市観光協会】 ・商工会議所、商工会との連携により市内企業・事業者の中から見学受入可能施設を新たに掘り起こし、産業観光体験プランの設定などを働きかけていく。 【稲沢商工会議所】 ・「稲沢まちゼミ」等の事業を通じて、事業者の掘り起こしを行う。
			対外的に誇るべき市内企業・事業者の製品や技術に関する情報発信	市(商工観光課) 市(農務課) 市観光協会 商工会議所 商工会	短期(1～3年)	【祖父江町商工会】 ・「祖父江ぎんなんマルシェ」を開催し、商工会員を中心とした出店者がぎんなんとぎんなん加工品のPR販売を行った。(6月17日、8月19日、10月28日、拡大版11月27日～29日) ・10月20・21日に金山駅において「商工会あいち物産店」に出店し、ぎんなんとぎんなん加工品のPR販売を行った。 【祖父江ぎんなんブランド推進協議会(JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農商工業者)】 ・「祖父江ぎんなん」の魅力発信と販売強化による消費拡大及びクレーム防止を目的に、愛知県農業生産力強化支援事業による産地戦略に基づき、「レシピ・保存方法」のリーフレット、「ぎんなんは生鮮食品です」チラシの作成に取り組んだ。	【稲沢商工会議所】 ・会員事業所の製品・技術を紹介する事業を展開する(内容未定)。 【祖父江町商工会】 ・今後も市内外の各種イベント・物産展に出店し、市内企業・事業者の持つ製品・技術のPR、販路拡大に努める。 【祖父江ぎんなんブランド推進協議会(JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農商工業者)】 ・協議会の公式Webサイトでイベント・販売情報を発信するなど、更なる知名度向上と消費拡大を目指し、地域一体となって「祖父江ぎんなん」の魅力をPRしていく。

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
2	⑦ 産業観光の推進	<p>◆農商工業に関連する技術や生産地、工業施設など、産業を観光資源として活用し、本市の製品を国内外へPRするとともに、生産者が来訪者と交流することで、産業技術の継承、雇用の確保、新たな製品開発等を促し、地域産業の振興を図る。</p> <p>◆本市の都市イメージとして印象強い「植木産業」をはじめ、本市の地場産業の技術を活用したイベント、伝統技術や最先端の工業技術を活用した体験会・見学会等を観光的側面も含めて実施することで、誘客の促進を図るとともに、本市の優れた製品や技術を国内外にPRする。</p>	<p>市内企業・事業者と連携した産業観光ルートの設定 (基本方針2-②再掲)</p> <p>ものづくり体験や収穫体験ができる産業観光メニューの創出</p>	<p>市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 商工会 農商工業者</p> <p>市(商工観光課) 市観光協会 農商工業者</p>	<p>中期(3~5年)</p> <p>中期(3~5年)</p>	<p>【市観光協会】 ・産業観光ルートではなく、各事業者が提供する着地型プランとして設定し、PRに努めた。(稲沢フルーツ園、木村農園、明治ファクトリー愛知など) ・名鉄ハイキングコースに、JR貨物愛知機関区を組み入れて実施した。(5月20日、21日)</p> <p>【平和町商工会・農商工業者】 ・「へいわさくらまつり」の開催に合わせて「明治なるほどファクトリー愛知」の自由見学会を実施しようと企画したが、新型コロナウイルスの影響により工場見学ができない状況となった。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・地元飲食店及び土産・特産品店の一覧表と地図を記載したパンフレットを作成し、配布した。また、同情報を商工会の公式Webサイトにも掲載し、情報発信した。</p> <p>【市・市観光協会】 ・「椿園」「稲沢フルーツ園」など見学受入可能施設を旅行商品に組み込んでもらえるよう、企画提案資料を作成し、旅行事業者との観光商談会でPRを行った。</p> <p>【市・市観光協会・稲沢商工会議所】 ・稲沢商工会議所が主催する「稲沢まちゼミ」に参加し、着地型観光プラン「ぎんなんマイスターになろう!」を昨年度に引き続き実施した。イチヨウ黄葉のガイド付き散策に加え、祖父江町商工会とJA愛知西の協力を得て、ぎんなん落とし体験をプログラムへ取り入れた。</p> <p>【市観光協会】 ・地元の魅力を再発見してもらうため、会員事業者との連携の下、稲沢市の地域資源の魅力(ひと・もの・こと)を体感できる着地型体験プログラム(苔玉づくり体験、イチヨウ染めウールマフラーづくり体験、バナナ収穫&ピザ作り体験)など、市内及び近郊エリアからの誘客に取り組んだ。</p> <p>【稲沢商工会議所】 ・「稲沢の社会科見学〜知ろう! 私たちの稲沢」と題して市内企業を周る産業観光ツアーを実施した。(7月26日開催)</p> <p>【祖父江町商工会】 ・「祖父江ぎんなんパーク」を活用し、ぎんなん収穫体験を実施した。</p>	<p>【市観光協会・農商工業者】 ・産業観光受入施設をつないだ産業観光ルートを開発するという考え方ではなく、それぞれが独立した着地型プランとして設定していく。</p> <p>【市・市観光協会】 ・「祖父江ぎんなん街道」の認知度を高め、現地への誘客に繋げるため、関係者に観光面での活用を働き掛ける。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・「祖父江ぎんなん街道」の認定を活用して、ぎんなんを使った菓子、料理を始め、黄金色に染まる景色を楽しんでもらえるように情報発信に努めていく。</p> <p>【平和町商工会・農商工業者】 ・「へいわさくらまつり」の開催に合わせて「明治なるほどファクトリー愛知」の自由見学会について、次年度以降も計画していく。</p> <p>【市・市観光協会】 ・商工会議所、商工会、JA愛知西、いなざわ観光まちづくりラボメンバー等から見学受入可能施設の情報を収集するとともに、それらの施設に対して体験プランの設定を働き掛けていく。</p> <p>・農園見学、収穫体験など個々に実施されているものの、観光メニューとして活用されていないコンテンツが市内に潜在しているため、関係事業者への働き掛けやいなざわ観光まちづくりラボとの連携により、新たなメニューの創出に取り組んでいく。</p> <p>【市・市観光協会・祖父江町商工会・農商工業者】 ・祖父江ぎんなんパークを活用し、イチヨウの花の観察やぎんなん収穫体験など、イチヨウ黄葉見学以外の新たな楽しみ方を提案していく。</p> <p>【稲沢商工会議所】 ・工場見学や体験学習会等の実施を検討していく。</p>

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
2	⑦ 産業観光の推進	<p>◆農商工業に関連する技術や生産地、工業施設など、産業を観光資源として活用し、本市の製品を国内外へPRするとともに、生産者が来訪者と交流することで、産業技術の継承、雇用の確保、新たな製品開発等を促し、地域産業の振興を図る。</p> <p>◆本市の都市イメージとして印象強い「植木産業」をはじめ、本市の地場産業の技術を活用したイベント、伝統技術や最先端の工業技術を活用した体験会・見学会等を観光的側面も含めて実施することで、誘客の促進を図るとともに、本市の優れた製品や技術を国内外にPRする。</p>	産業観光メニューに関する情報発信	市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 商工会	中期(3~5年)	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/29~2/4の期間で出展した栄地下街のURスペース「まちのたね」会場において、「明治なるほどファクトリー愛知」工場見学等の情報発信を行った。 	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所、商工会との連携により、産業観光に関する情報収集力を高めていく。また、ターゲットに応じて、様々な広報媒体を活用した積極的な情報発信に努めていく。 <p>【稲沢商工会議所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式Webサイト等、様々な媒体を通じて情報発信していく。 <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会の公式WebサイトやTwitter等を有効活用し、情報を随時発信していく。 <p>【平和町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信に努めていく。
2	⑧ 広域連携の推進による誘客促進	<p>◆愛知県や愛知県観光協会のほか、美濃路・木曾川沿線自治体など本市と共通のテーマ・資源を持つ自治体や観光事業者等との連携により観光ルートの創出やイベント・キャンペーンを開催し、エリアとしての誘客を図る。</p> <p>◆本市の地域資源と共通したテーマの地域資源を持つ自治体・観光事業者と効果的に連携することで国内外からの誘客を促進し、来訪・交流人口の拡大による地域経済の活性化につなげる。</p>	広域連携による観光ルートの創出	市(商工観光課) 国・県 市観光協会 県観光協会 観光事業者 交通事業者	中期(3~5年)	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施なし <p>【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施なし 	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県が主催する「あいち観光まちづくりゼミ」で培った他地域とのネットワークを活用し、継続的な広域周遊ルートの創出を目指す。 <p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいちの歴史観光推進協議会への参画を通じて、愛知県や愛知県観光協会、県内市町村等との連携を強化し、新たな武将観光ルートの創出に繋げる。 ・美濃路街道連携協議会の加盟自治体(一宮市など)や信長公ゆかりの資源を有する近隣市町(愛西市、津島市、清須市など)を始め、本市と共通のテーマ・資源を持つ地域と連携し、新たな広域周遊ルートを創出することで、相乗的な誘客を目指す。
			共通したテーマの地域資源を持つ自治体等との連携の推進 【後期計画より新規】	市(商工観光課) 市観光協会	中期(3~5年)	具体的な取組みなし	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他自治体と共通する地域資源の掘り起こしを行う。

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の取組実績・進捗状況【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
2	⑧ 広域連携の推進による誘客促進	<p>◆愛知県や愛知県観光協会のほか、美濃路・木曾川沿線自治体など本市と共通のテーマ・資源を持つ自治体や観光事業者等との連携により観光ルートの創出やイベント・キャンペーンを開催し、エリアとしての誘客を図る。</p> <p>◆本市の地域資源と共通したテーマの地域資源を持つ自治体・観光事業者と効果的に連携することで国内外からの誘客を促進し、来訪・交流人口の拡大による地域経済の活性化につなげる。</p>	広域観光組織及び協議体への参画	市(商工観光課) 市観光協会	中期(3～5年)	<p>【市】 ・美濃路街道連携協議会幹事自治体の岐阜県垂井町において、美濃路街道交流パネル展・美濃路ウォークが開催される。 (開催日程:2024年3月10日)</p> <p>【市・市観光協会】 ・愛知県街道観光推進協議会への参画を通じて、「美濃路稲葉宿本陣跡ひろば」を始めとする市内の美濃路エリアの魅力を県内外に広く発信した。</p> <p>・愛知のお城観光推進協議会への参画を通じて、「お城EXPO 2023」及び「にっぽん城まつり2024 feat.出張！お城EXPO in 愛知」に出展し、観光ガイドブック「信長と稲沢」の配布、来場記念特別御城印の販売、CG復元動画の放映など、「信長公生誕の地・勝幡城跡」のPR活動を展開した。</p> <p>・2023年大河ドラマ「どうする家康」の放送を契機に、「徳川家康ゆかりの地」及び「武将のふるさと愛知」を広く全国に情報発信するとともに、観光振興による地域の活性化を図ることを目的として愛知県が設置した「愛知県大河ドラマ『どうする家康』観光推進協議会」に参画した。</p> <p>・愛知・名古屋観光誘客協議会への参画を通じて、旅行事業者に「現地ガイドと巡る信長公生誕の地・勝幡城跡」「ぎんなんマイスターになろう！祖父江イチョウ黄葉ガイド付き散策」など、稲沢市の観光素材を活用した特別企画等を提案した。また、同協議会が主催する観光商談会に参加し、旅行事業者に本市の企画を組み入れた旅行商品の造成を働き掛けた。</p> <p>【市・市観光協会・農工商事業者】 ・愛知・名古屋観光誘客協議会が夏期に展開した「あいち冷やし旅」キャンペーンに稲沢フルーツ園が参画し、「パッションフルーツもぎとり体験」を提供した。</p>	<p>【市・市観光協会】 ・美濃路街道連携協議会やあいちの歴史観光推進協議会への参画を通じて、関係市町との連携の下、街道観光事業を展開し、美濃路稲葉宿が持つ歴史の魅力を県内外に広く発信していく。</p> <p>・信長公にゆかりのある自治体との関係強化を図る中で、連携した武将観光メニューの創出と将来的な広域連携組織への参画を視野に入れていく。</p> <p>・愛知・名古屋観光誘客協議会等への参画を通じて、愛知県、愛知県観光協会、運輸機関(鉄道会社等)との連携により、プロモーション活動や周遊促進施策を効果的に展開し、本市への更なる観光誘客に繋げていく。</p>
2	⑨ 健康づくりと運動したまち歩きの推進	<p>◆観光ガイドブックとウォーキングマップが一体となったマップを活用し、まち歩きに利用してもらうことで、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図るとともに、来訪者による市内周遊性の向上と地域の魅力発見につなげ、ウェルネスツーリズムをコンセプトとした新たな事業展開を目指す。</p> <p>◆サリオパーク祖父江等で開催されるサイクルイベントを活用して本市をPRする。</p>	<p>鉄道事業者主催のウォーキングイベントとの連携 【後期計画より新規】</p> <p>ウォーキングマップの活用 【後期計画より新規】</p>	市(商工観光課) 市観光協会 交通事業者	継続実施	<p>【市観光協会】 ・名鉄・JR主催のウォーキングイベントと連携し、イベントを開催した。</p> <p>健康フェスタにおけるウォーキングイベントの開催時に、市の観光協作成のパンフレットを活用しながらウォーキングを実施した。</p>	<p>【市観光協会】 引き続き、各事業者主催のイベントと連携した事業を実施する。</p> <p>健康フェスタ時、ウォーキングイベントを実施、市の観光協作成のパンフレットを活用しながらウォーキングを実施し、健康づくりの推進を図っていく。</p>

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
2	⑨ 健康づくりと運動したまち歩きの推進	<p>◆観光ガイドブックとウォーキングマップが一体となったマップを活用し、まち歩きに利用してもらうことで、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図るとともに、来訪者による市内周遊性の向上と地域の魅力発見につなげ、ウェルネスツーリズムをコンセプトとした新たな事業展開を目指す。</p> <p>◆サリオパーク祖父江等で開催されるサイクルイベントを活用して本市をPRする。</p>	いきいきいなざわ いなっぴー健康マイレージ事業の推進 【後期計画より新規】	市（健康推進課）	短期（1～3年）	健康マイレージ事業に愛知県健康マイレージ連携アプリを取り入れ開始した。	愛知県健康マイレージ連携アプリを活用した健康マイレージ事業の周知をし、多くの方に活用いただくよう周知を行っていく。
			既存ウォーキングコースの見直し、新規コースの検討 【後期計画より新規】	市（商工観光課） 市（都市整備課） 市（健康推進課） 市観光協会	短期（1～3年）	<p>【健康推進課】 既存のウォーキングコース（稲葉宿コース）をイベント時に歩き、今後のコースの検討を行った。</p> <p>【都市整備課】 ・稲沢公園の園路にウォーキングマップ6基の寄付を受け。</p>	<p>【健康推進課】 既存のウォーキングコースをイベント時に歩き、今後のコースの検討を行っていく。</p> <p>【都市整備課】 ・既存ウォーキングコースの見直しや効果的な新規コースの検討を行う。</p>
			ウェルネスツーリズム事業	市（健康推進課） 市観光協会 商工会議所 商工会 観光事業者 交通事業者 農商工業者	中期（3～5年）	<p>【市】 ・新型コロナウイルスの感染対策に注意しながら、11月3日の「いきいきいなざわ健康秋フェスタ」においてウォーキングイベント「いきいきウォーキング」を開催。勤労福祉会館から稲葉宿周辺を巡る全長約3.2kmのコースを設定し、健康づくりを行った。</p> <p>【市観光協会・交通事業者】 ・祖父江イチョウ黄葉まつり期間に名鉄ハイキング（常設コース）を実施。 森上駅～松月堂～根福寺～善光寺東海別院～正塔院～刈萱寺～イチョウ黄葉まつり～山崎駅</p> <p>・5月20日・21日の名鉄ハイキングにJR貨物愛知機関区見学を組み込んで実施した。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・通年型のツーリズム事業として、新緑期・黄葉期のイチョウを巡るウォーキングを計画したが、黄葉期のノルディックウォーキングのみの実施となった。</p>	<p>【市】 ・健康フェスタにおいて、ウォーキングイベントを開催していく。まち歩きによって地域の魅力を発見し、楽しみながら健康づくりにも繋がる機会を提供していく。</p> <p>【市・市観光協会】 ・市内観光地点を巡る魅力的なウォーキングコースの設定を行い、まち歩き観光の促進を図る。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・通年型のツーリズム事業として、新緑期・黄葉期のイチョウを巡るウォーキングを企画し、参加者の増加を目指していく。</p>
			市内周遊サイクリングコースの検討 【後期計画より新規】	市（商工観光課） 市（都市整備課） 市観光協会	中期（3～5年）	<p>【市】 ・サイクリングロードの整備に向けて、国や一宮市を交えた木曾川上流域自転車道整備活用推進会議で協議した。</p>	<p>【市】 ・サイクリングロードの整備に向けて、国や一宮市を交えた木曾川上流域自転車道整備活用推進会議で引き続き協議していく。</p>
2	⑩ 寺社との連携強化による文化財の活用	◆文化財の活用に向けて、文化財所有者で組織する連絡協議会、行政及びボランティアガイドの団体による連絡会議を開催し、公開に向けた方策を検討する。	文化財の活用に関係する団体との協議の推進	市（生涯学習課） 市観光協会 寺社 市民団体	短期（1～3年）	<p>【市・寺社】 ・市制65周年を記念して、性海寺の協力により、荻須記念美術館を会場に性海寺所蔵の指定文化財19点を特別展示した。</p> <p>【市観光協会・寺社】 ・名鉄ハイキングコースに尾張大國霊神社、長光寺、亀翁寺を組み込んで実施した。（5月20日、21日）</p>	<p>【市・寺社・市民団体】 ・文化財所有者及びボランティア団体との連携により文化財公開デーを開催し、活用を図っていく。</p> <p>【市観光協会・寺社】 ・寺社・文化財の魅力を再発見するガイド案内プランの創出を目指す。</p>
2	⑪ 観光行動及び交流活動の推進	◆来訪者の観光行動を分析するため、デジタルマーケティングの手法を用いたデータの収集を検討する。収集したデータは市内観光客の周遊データ分析に活用することで、次なる観光施策の推進につなげる。	スマートフォン等の活用と市内観光客の動向分析	市（商工観光課） 市観光協会	中期（3～5年）	<p>【市・市観光協会】 ・ご当地グルメ（稲沢カレー）を開発した事業者を対象にスマートフォンを活用したデジタルスタンプラリーを実施。来訪者の動向分析を継続的に行い、ご当地グルメの認知度を高め、食をフックとした誘客に努めてきた。</p>	<p>【市・市観光協会】 ・スマートフォンを活用したデジタルスタンプラリーの実施等により、来訪者の動向分析を継続的に行い、新たな観光事業の企画立案に活かしていく。</p>

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
2	⑫ 荻須記念美術館の魅力向上	<p>◆本市が輩出した荻須高德画伯を顕彰する美術館を中心として芸術文化の振興を図る。</p> <p>◆荻須画伯に関する作品、資料のさらなる収集に努め、特別展・企画展を開催することで鑑賞の機会を提供し、市内外からの幅広い集客を図る。</p> <p>◆市内の大学等と連携し、体験型イベントをはじめ、美術館の魅力向上と集客につながる事業を展開する。</p>	<p>特別展・企画展の開催</p>	<p>市(美術館)</p>	<p>継続実施</p>	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荻須高德と同時期にパリに滞在した版画家、長谷川潔を京都国立近代美術館コレクションにより紹介する市制65周年・開館40周年記念特別展「長谷川潔展 -京都国立近代美術館コレクション-」を開催した。 (会期:2023年10月28日～12月10日) (入場者数:4,944人) ・稲沢市出身の画家、磯野宏夫の展覧会企画展「磯野宏夫展 -生命(いのち)輝く森-」を開催した。 (会期:2023年7月1日～8月20日) (入場者数:4,492人) ・市民の芸術文化振興を目的として、第60回稲沢市民展を開催した。 (会期: I部2023年10月3日～9日、II部10月11日～15日) (入場者数: I部1,506人、II部890人) ・市内の小中学生が描いた写生画の優秀作品を展示する、第44回絵になる町児童生徒絵画展を開催した。 (会期:2024年1月4日～14日) (入場者数:1,861人) 	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館以来はじめてとなる絵本原画の展覧会である特別展安野光雅展を開催する。 (会期:2024年10月26日～12月8日) ・第61回稲沢市民展(会期: I部2024年10月1日～6日、II部10月8日～14日)、第45回絵になる町児童生徒絵画展(会期:2025年1月4日～13日)をそれぞれ開催する。
			<p>稲沢市美術館大学パートナーシップ事業</p>	<p>市(美術館) 大学</p>	<p>短期(1～3年)</p>	<p>【市・大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展に関連した連携事業を市内各大学と実施した。 ・名古屋文理大学* 連携講座稲沢市文化振興財団出張演奏会「アート&コンサート」 特別展にまつわるトークとミニコンサートを楽しんだ後に、学芸員による解説付きで特別展を観賞する企画を実施した。 (11月23日開催) 	<p>【市・大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学との連携を更に深め、魅力ある美術館大学パートナーシップ事業を展開することで、集客力の向上に繋げていく。

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の取組実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
基本方針3 観光誘客の促進と地域経済が潤う仕組みの構築							
3	① 観光資源の価値と理解を深めるプロモーションの強化	<p>◆利用者が必要な情報を入手しやすいように観光情報を集約するための「観光ポータルサイト」を開設するほか、SNSをはじめとするコミュニケーションツールを活用し、より効果的な情報発信が可能な仕組みの構築を検討する。</p> <p>◆マスメディア、ケーブルテレビやタウン誌などの地域メディアとの連携を強化するとともに、フィルムコミッション事業を推進する。</p> <p>◆本市の魅力を広くPRするためのツールとして、市内外を問わず高い認知度を誇り、幅広い年代層から人気がある稲沢市公式マスコットキャラクター「いなっピー」や稲沢市シティアテンダントを積極的に活用するほか、愛知県や愛知県観光協会をはじめとする関係機関・団体、大型商業施設や交通事業者等と連携した観光プロモーションを展開する。</p> <p>◆本市への来訪意欲・消費意欲の喚起に向けて、ファンづくりとリピーターづくりが必要となるため、観光資源のブランディングにより本市の価値と魅力を高め、それに共感する人々を的確にターゲットとし、稲沢市観光協会を中心にご当地グルメの開発をはじめとした戦略的な観光プロモーションに取り組んでいく。</p>	SNS等を活用した情報発信 (基本方針1-④再掲)	市(商工観光課) 市観光協会 商工会 ほか	短期(1~3年)	<p>【市観光協会】 ・稲沢市観光協会公式ホームページやInstagramを活用し、稲沢市の様々な魅力情報を積極的に発信した。また、稲沢市シティアテンダントによるInstagram投稿にも取り組み、SNSを活用した情報発信の強化に努めた。</p> <p>・稲沢市シティアテンダントが市内の体験施設を紹介する体験プランのチラシを作成し、Instagram投稿も含め、誘客促進に努めた。</p> <p>1.木曾川で気軽にSUP体験 2.マカイビーチでウインドサーフィンに挑戦！ 3.バナナもぎとり体験 4.苔玉づくり体験</p> <p>・祖父江ぎんなんをはじめとする市内の食材を活用した料理を紹介する「地産地消おしゃやれな料理教室」を実施した。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・「そぶえイチョウ黄葉まつり」の期間を中心に、現地へ訪れる黄葉観賞者に向けて、商工会のX(Twitter)や「そぶえイチョウ黄葉まつり実行委員会」の公式Webサイト上で黄葉状況等をタイムリーに発信した。</p> <p>【稲沢イルミネーション実行委員会(市・市観光協会・商工会議所・寺社・農工商業者・大学・いなざわ観光まちづくりラボ)】 ・X(Twitter)、Instagram、Facebookを活用し、イベント情報をタイムリーに発信した。</p>	<p>【市】 ・各祭り・イベントにおいて、開催の目的や内容、ターゲットとする来場者に応じた最適なSNSを活用し、効果的かつタイムリーな情報発信によって誘客に繋げていく。</p> <p>【市観光協会】 ・Instagram投稿キャンペーンの実施など、SNSの活用により公式サイト等と連動した効果的かつタイムリーな情報発信を推進し、稲沢市の観光情報への訴求力を高めていく。</p> <p>・稲沢市観光協会公式Instagram及び稲沢市シティアテンダントInstagramについて、市民を含め、より多くの方々に稲沢市の観光資源の魅力を広めていけるよう、投稿内容の充実と発信力の強化に努めていく。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・商工会の公式Webサイト、X(Twitter)及び「そぶえイチョウ黄葉まつり」の公式Webサイトを活用して、祖父江イチョウ黄葉やぎんなんに関する情報を随時発信していく。</p> <p>【稲沢夏まつり実行委員会】 ・X(Twitter)、Instagram、Facebookを活用し、イベントの情報発信をタイムリーに行う。</p>
			マスメディアや地域メディアとの連携強化	市(商工観光課) 市観光協会 商工会 ほか	短期(1~3年)	<p>【市・市観光協会】 ・報道機関に市内の観光情報のほか、稲沢市観光協会や協会会員が展開する様々な取組を積極的に情報提供した。その結果、今年度も祖父江イチョウ黄葉やぎんなんを始め、多くのメディアから取材や問合せが寄せられた。また、稲沢ご当地グルメ開発の取組についてもメディアへの露出機会を増加させることができた。</p> <p>【市観光協会】 ・いなっピーグッズの新商品情報を報道機関に積極的に提供した結果、新聞紙や地域情報誌に取り上げられ、売上増加に繋がった。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・「そぶえイチョウ黄葉まつり」に係るメディアの取材が例年以上に多かったが、すべてに対し全面的に協力し今後のメディアプロモーションに向けた関係構築に努めた。</p>	<p>【市・市観光協会】 ・稲沢市の観光資源の魅力を県内外に広く認知してもらうため、メディアを効果的に活用していく。各メディアに対して絶えず新鮮な情報を提供できるよう、地域とのコミュニケーションを常に意識し、情報収集に努めていく。</p> <p>【市・市観光協会・祖父江町商工会】 ・、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえつつ、祭り・イベントの開催に向けてキャラバン隊を編成し、報道機関に対する重点的なPR活動を展開していく。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・「そぶえイチョウ黄葉まつり」や黄葉状況等について多くのメディアから問合せや取材の依頼がある。これらに全面的に協力することで、今後のメディアプロモーションに向けた関係構築に努める。</p>
			フィルムコミッション事業の推進	市(シティプロモーション課) 市観光協会	短期(1~3年)	<p>【市】 ・「愛知県フィルムコミッション協議会」を通じて情報収集に努めた。</p>	<p>【市】 ・事業の具体化と体制づくりを検討していく。</p>

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
3	① 観光資源の価値と理解を深めるプロモーションの強化	<p>◆利用者が必要な情報を入手しやすいように観光情報を集約するための「観光ポータルサイト」を開設するほか、SNSをはじめとするコミュニケーションツールを活用し、より効果的な情報発信が可能な仕組みの構築を検討する。</p> <p>◆マスメディア、ケーブルテレビやタウン誌などの地域メディアとの連携を強化するとともに、フィルムコミッション事業を推進する。</p> <p>◆本市の魅力を広くPRするためのツールとして、市内外を問わず高い認知度を誇り、幅広い年代層から人気がある稲沢市公式マスコットキャラクター「いなっピー」や稲沢市シティアテンダントを積極的に活用するほか、愛知県や愛知県観光協会をはじめとする関係機関・団体、大型商業施設や交通事業者等と連携した観光プロモーションを展開する。</p> <p>◆本市への来訪意欲・消費意欲の喚起に向けて、ファンづくりとリピーターづくりが必要となるため、観光資源のブランディングにより本市の価値と魅力を高め、それに共感する人々を的確にターゲットとし、稲沢市観光協会を中心にご当地グルメの開発をはじめとした戦略的な観光プロモーションに取り組んでいく。</p>	<p>いなっピーの活用</p> <p>稲沢市シティアテンダントの活用</p> <p>関係機関等と連携した観光プロモーションの推進</p>	<p>市(商工観光課) 市観光協会</p> <p>市観光協会</p> <p>市(商工観光課) 県 市観光協会 県観光協会 観光事業者 交通事業者</p>	<p>短期(1～3年)</p> <p>短期(1～3年)</p> <p>短期(1～3年)</p>	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アピタ稲沢店やリーフウォーク稲沢展での「いなっピー 稲沢まるごと観光展」に参加し、観光PRに協力した。 ・武将観光、お城観光イベントでのPR活用を目的として、織田信長公をイメージした衣装で「お城EXPO 2023」に参加し、PRを行った。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いなっピーグッズの新商品として、新たにいなっピー、ウルドくんコラボマフラータオルを作成し、販売を開始した。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲沢市シティアテンダントがInstagramアカウントを活用し、市内の観光スポットやグルメ情報を発信した。 ・市制65周年感謝イベント会場新たに委嘱された「稲沢市観光PR大使」を活用し、イベントやまつり、SNS等の活用も含め、稲沢の魅力発信を行ってきた。 <p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近郊エリアからの誘客促進及び観光まちづくりに対する市民意識の醸成を図るため、リーフウォーク稲沢展の協力の下、「いなっピー 稲沢まるごと観光展」を開催した。(8月22日・23日) ・愛知の公式観光Webサイト「Aichi Now」や愛知県観光協会公式サイト「あいちの観光ナビ」、観光情報誌「旬感観光あいち」への掲載による拡散効果を狙い、県及び県観光協会へ本市の観光・イベント情報を積極的に提供した。 ・愛知県街道観光推進協議会への参画を通じて、「美濃路稲葉宿本陣跡ひろば」を始めとする市内の美濃路エリアの魅力を県内外に広く発信した。 ・県の観光事業や愛知のお城観光推進協議会への参画を通じて、愛西市及び愛西市観光協会と共同で「信長公生誕の地・勝幡城跡」のPR活動を展開した。 1.「お城EXPO 20223」に出展。 (12月16日・17日／パシフィコ横浜ノース) 活動内容:来場記念特別御城印の販売、勝幡城CG復元動画の放映など 2.「につぼん城まつり2024 feat.出張！お城EXPO in愛知」に出展。 (2024年3月2日・3日／吹上ホール) 活動内容:来場記念特別御城印の販売、勝幡城CG復元動画の放映など ・愛知・名古屋観光誘客協議会への参画を通じて、旅行者に「信長公生誕の地・勝幡城跡」「祖父江イチョウ黄葉」「バナナもぎとり体験」「尾張大國霊神社特別参拝」など、稲沢市の観光素材を活用した特別企画等を提案した。また、同協議会が主催する観光商談会に参加し、本市の企画を組み入れた旅行商品の造成を働き掛けた。 <p>【市・市観光協会・農商工事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知・名古屋観光誘客協議会が夏期に展開した「あいち冷やし旅」キャンペーンに稲沢フルーツ園が参画し、「パッションフルーツもぎとり体験」を提供した。 	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いなっピーグッズの制作に当たり、市場のニーズ調査を行う。その結果を踏まえた魅力的な新商品を開発することで、一部のファン層だけでなく、より多くの方々の購買意欲を促し、稲沢市への愛着と注目度の向上に繋げる。 ・いなっピーグッズの在庫状況を踏まえ、市内外で開催される祭りやイベントへの出店など、販売機会の拡充と販売活動の強化に取り組む。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲沢市の観光PRと知名度向上に繋がるよう、祭り・イベントにおけるPR活動だけでなく、Instagram投稿やYouTubeによる動画配信など、SNSによる発信面でも積極的な活用を図っていく。 <p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いなっピー 稲沢まるごと観光展」を定期開催していく。 ・美濃路街道連携協議会やあいちの歴史観光推進協議会への参画を通じて、関係市町との連携の下、街道観光事業を展開し、美濃路稲葉宿が持つ歴史の魅力を県内外に広く発信していく。 ・愛知・名古屋観光誘客協議会等への参画を通じて、愛知県、愛知県観光協会、運輸機関(鉄道会社等)との連携により、プロモーション活動や周遊促進施策を効果的に展開し、本市への更なる観光誘客に繋げていく。 ・観光商談会や観光展等への参加を通じて旅行者を始めとする観光関係者との関係強化に努めるとともに、来訪者ニーズを踏まえた観光素材の楽しみ方やテーマ性のあるコース提案などに取り組み、新たな旅行商品の造成を働き掛ける。

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
3	① 観光資源の価値と理解を深めるプロモーションの強化	<p>◆利用者が必要な情報を入手しやすいように観光情報を集約するための「観光ポータルサイト」を開設するほか、SNSをはじめとするコミュニケーションツールを活用し、より効果的な情報発信が可能な仕組みの構築を検討する。</p> <p>◆マスメディア、ケーブルテレビやタウン誌などの地域メディアとの連携を強化するとともに、フィルムコミッション事業を推進する。</p> <p>◆本市の魅力を広くPRするためのツールとして、市内外を問わず高い認知度を誇り、幅広い年代層から人気がある稲沢市公式マスコットキャラクター「いなッビー」や稲沢市シティアテンダントを積極的に活用するほか、愛知県や愛知県観光協会をはじめとする関係機関・団体、大型商業施設や交通事業者等と連携した観光プロモーションを展開する。</p> <p>◆本市への来訪意欲・消費意欲の喚起に向けて、ファンづくりとリピーターづくりが必要となるため、観光資源のブランディングにより本市の価値と魅力を高め、それに共感する人々を的確にターゲットとし、稲沢市観光協会を中心にご当地グルメの開発をはじめとした戦略的な観光プロモーションに取り組んでいく。</p>	<p>観光情報サイトの充実</p> <p>稲沢らしい観光資源の創出と磨き上げ</p>	<p>市(商工観光課) 市観光協会</p> <p>市(商工観光課) 市観光協会 ほか</p>	<p>短期(1～3年)</p> <p>中期(3～5年)</p>	<p>【市観光協会】 ・稲沢市の観光に関する情報を幅広く収集し、稲沢市観光協会の公式Webサイトを通じてタイムリーな発信に努めた。また、利用者及び観光客のニーズに応えるため、同サイト内の掲載コンテンツの充実とアクセシビリティの改善に努めた。</p> <p>【市】 ・「祖父江ぎんなん」ブランドの強化・確立、「ぎんなん・歴史・健康」をテーマとした多彩な交流、イチョウ黄葉散策が楽しめる公園として、「祖父江ぎんなんパーク」が2021年6月にオープンした。</p> <p>【JA愛知西】 ・「祖父江ぎんなん」のブランド力向上及び販売力強化を目的に、既存の3出荷組織を統一し、新たに「JA愛知西祖父江ぎんなんブランド部会」を設立した(2021年4月)。</p> <p>【市・市観光協会】 ・「信長公生誕の地」を稲沢市を代表するブランドへと発展させるため、県内外の武将観光・お城観光イベントへの出展、アピタ稲沢店での「信長と稲沢」をテーマとした観光展の開催、「勝幡城跡」御城印の販売など、認知度向上のためのPR活動を展開した。</p>	<p>【市観光協会】 ・利用者及び観光客のニーズに応えるため、公式サイトに掲載するコンテンツを更に充実させ、訴求力の高いWebサイトへと改善を図っていく。また、SEO対策やアクセス解析等にも取り組んでいく。</p> <p>【市・市観光協会・祖父江町商工会・JA愛知西・農商工業者】 ・祖父江ぎんなんパークにおいて、「そぶえイチョウ黄葉まつり」「祖父江ぎんなんマルシェ」の会場活用のほか、イチョウの花の観察やぎんなん収穫体験など、黄葉見学以外の新たな楽しみ方を提供することで、幅広い世代が交流できる拠点づくりと「祖父江ぎんなん」ブランドの更なる向上を目指す。</p> <p>【祖父江ぎんなんブランド推進協議会(JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農商工業者)】 ・協議会の公式Webサイトでイベント・販売情報を発信するなど、更なる知名度向上と消費拡大を目指し、地域一体となって「祖父江ぎんなん」の魅力をPRしていく。</p> <p>【市・市観光協会・祖父江町商工会】 ・「祖父江イチョウ黄葉」の更なる地名度向上と集客に繋るため、関係者との連携の下、積極的なプロモーション活動と現地での事業展開に取り組む。</p> <p>【市・市観光協会】 ・「祖父江ぎんなん街道」の認知度を高め、現地への誘客に繋げるため、関係者に観光面での活用を働き掛ける。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・「祖父江ぎんなん街道」の認定を活用して、ぎんなんを使った菓子、料理を始め、黄金色に染まる景色を楽しんでもらえるよう情報発信に努めていく。</p> <p>【市・市観光協会】 ・武将観光・お城観光イベントへの参加のほか、観光ガイドBOOK「信長と稲沢」や「勝幡城跡」御城印等のPRグッズを効果的に活用し、「信長公生誕地・稲沢市」の認知度向上と観光誘客に繋がるプロモーション活動を積極的に展開していく。また、市民グループや地域の歴史関係者との連携のほか、市民向けの啓発にも引き続き取り組み、市民の新たなアイデンティティ形成と観光まちづくり活動への発展を目指す。</p>

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
3	① 観光資源の価値と理解を深めるプロモーションの強化	<p>◆利用者が必要な情報を入手しやすいように観光情報を集約するための「観光ポータルサイト」を開設するほか、SNSをはじめとするコミュニケーションツールを活用し、より効果的な情報発信が可能な仕組みの構築を検討する。</p> <p>◆マスメディア、ケーブルテレビやタウン誌などの地域メディアとの連携を強化するとともに、フィルムコミッション事業を推進する。</p> <p>◆本市の魅力を広くPRするためのツールとして、市内外を問わず高い認知度を誇り、幅広い年代層から人気がある稲沢市公式マスコットキャラクター「いなッピー」や稲沢市シティアテンダントを積極的に活用するほか、愛知県や愛知県観光協会をはじめとする関係機関・団体、大型商業施設や交通事業者等と連携した観光プロモーションを展開する。</p> <p>◆本市への来訪意欲・消費意欲の喚起に向けて、ファンづくりとリピーターづくりが必要となるため、観光資源のブランディングにより本市の価値と魅力を高め、それに共感する人々を的確にターゲットとし、稲沢市観光協会を中心にご当地グルメの開発をはじめとした戦略的な観光プロモーションに取り組んでいく。</p>	<p>戦略的な観光プロモーションの実現 (基本方針1-③再掲)</p>	<p>市(商工観光課) 市観光協会 商工会 ほか</p>	<p>中期(3～5年)</p>	<p>【市・市観光協会】 ・近郊エリアからの誘客促進及び観光まちづくりに対する市民意識の醸成を図るため、リーフウォーク稲沢店の協力の下、「いなッピーまるごと観光展」を開催した。(8月22日・23日)</p> <p>・愛知の公式観光Webサイト「Aichi Now」や愛知県観光協会公式サイト「あいちの観光ナビ」、観光情報誌「旬感観光あいち」への掲載による拡散効果を狙い、県及び県観光協会へ本市の観光・イベント情報を積極的に提供した。</p> <p>・県の観光事業や愛知のお城観光推進協議会への参画を通じて、愛西市及び愛西市観光協会と共同で「信長公生誕の地・勝幡城跡」のPR活動を展開した。 1.「お城EXPO 2023」に出展。 (12月16日・17日／パシフィコ横浜ノース) 活動内容：来場記念特別御城印の販売、勝幡城CG復元動画の放映など 2.「につぼん城まつり2024 feat.出張！お城EXPO in愛知」に出展。 (2024年3月2日・3日／吹上ホール) 活動内容：来場記念特別御城印の販売、勝幡城CG復元動画の放映など</p> <p>・愛知・名古屋観光誘客協議会への参画を通じて、旅行業者に「信長公生誕の地・勝幡城跡」「祖父江イチョウ黄葉」「バナナもぎとり体験」「尾張大國霊神社特別参拝」など、稲沢市の観光素材を活用した特別企画等を提案した。また、同協議会が主催する観光商談会に参加し、本市の企画を組み入れた旅行商品の造成を働き掛けた。</p> <p>【市・市観光協会・農商工事業者】 ・愛知・名古屋観光誘客協議会が夏期に展開した「あいち冷やし旅」キャンペーンに稲沢フルーツ園が参画し、「パッションフルーツもぎとり体験」を提供した。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・「そぶえいチョウ黄葉まつり」や黄葉状況などについて多くのメディアから問合せや取材が相次いだ。これらに全面的に協力することで、今後のメディアプロモーションに向けた関係構築に努めた。</p>	<p>【市・市観光協会】 ・「いなッピーまるごと観光展」を定期開催していく。</p> <p>・あいちの歴史観光推進協議会への参画を通じて、愛知県や愛知県観光協会、県内市町村等と連携した武将観光・お城観光を推進し、「信長公生誕の地・稲沢市」の認知度向上と観光誘客に繋がるプロモーション活動を積極的に展開していく。</p> <p>・愛知・名古屋観光誘客協議会等への参画を通じて、愛知県、愛知県観光協会、運輸機関(鉄道会社等)との連携により、プロモーション活動や周遊促進施策を効果的に展開し、本市への更なる観光誘客に繋げていく。</p> <p>・観光商談会や観光展等への参加を通じて旅行事業者を始めとする観光関係者との関係強化に努めるとともに、来訪者ニーズを踏まえた観光素材の楽しみ方やテーマ性のあるコース提案などに取り組み、新たな旅行商品の造成を働き掛けていく。</p> <p>【市観光協会】 ・豊田合成記念体育館(エントリオ)でプロスポーツチームの公式戦が今後も年間を通じて開催され、多くの来場者が見込まれる。試合観戦の前後に市内観光を楽しんでいただけるよう、来場者に向けておすすめ観光情報を提供していく。</p> <p>【市】 ・委嘱した方の活動のなかで稲沢市のことをPRしていただけでなく、イベントなどの観光に関する情報を適宜提供していく。</p>
			<p>稲沢観光PR大使設置の検討</p>	<p>市(商工観光課) 市観光協会</p>	<p>中期(3～5年)</p>	<p>【市】 ・11/4に開催した市制65周年記念イベント「おかげさまで65周年感謝祭」において、稲沢市にゆかりのある方(ボルサリーノ 関好江さん、林拓磨さん)に対し『稲沢市観光PR大使』を委嘱した。</p>	<p>【市】 ・委嘱した方の活動のなかで稲沢市のことをPRしていただけでなく、イベントなどの観光に関する情報を適宜提供していく。</p>

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
3	② 食の魅力づくり・お土産品の開発	<p>◆本市の食材や食品、食文化を活用したイベント等の際に、食材・食品のPRと合わせて生産者、販売者の“こだわり”等を情報発信することで、商品の付加価値を高め、販路の拡大につなげる。</p> <p>◆「食」の地域ブランド化を推進する中でご当地グルメを開発し、シティブロモーションのツールとして活用する。</p> <p>◆市民や来訪者が特産品をいつでも気軽に入手でき、飲食や休憩などでもできる場所として、主要駅前周辺施設や商店街空店舗の活用、JAの共同直売所の充実をはじめ、交流拠点の整備について検討していく。</p> <p>◆各祭り・イベントにおいて稲沢市PRコーナーを設置し、来訪者が特産品を気軽に購入できる環境を整備する。</p>	稲沢市の「食」を活用したイベントの開催	市(商工観光課) 市(農務課) 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 観光事業者 農商工業者	短期(1～3年)	<p>【市・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業者が自ら作った農作物や加工品を祭り・イベント等で販売し、POPなどを活用して“こだわり”を発信した。また、商品の付加価値を高め、農業ビジネスを考えるための「6次産業化研修会」を10月から11月にかけて全3回開催した。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おすすめグルメガイドin稲沢」掲載店舗の協力を得て、「おすすめグルメシールラリー」を実施した。 ・祖父江ぎんなんをはじめとする市内の食材を活用した料理を紹介する「地産地消おしゃれな料理教室」を実施した。 ・「祖父江ぎんなんマルシェ」や「いなざわ梅まつり」、いなざわ観光まちづくりラボ主催のイベント「美濃路稲葉宿元気マルシェ」「ワンコインチャリティー四季の詩」会場での農産物・特産品の出店支援を行った。 ・市内飲食店舗を応援するため、稲沢市観光協会の公式Webサイト内で「テイクアウトできる店」を昨年度に引き続き特集掲載した。 <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祖父江ぎんなんパークで、ぎんなんグルメや和菓子、農産物、軽食、ドリンクの販売ブースが出店する「祖父江ぎんなんマルシェ」を開催した。 (6月17日、8月19日、10月28日、拡大版11月27日～29日 来場者数:累計17,000人) 	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で祭り・イベントでの出店機会が減少していることから、SNS等を活用して農業者の“こだわり”を発信できる場の創出や販路の拡大に繋げていく。 ・また、6次産業の可能性を広げていくため、引き続き「6次産業化研修会」を開催する。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンを活用して稲沢カレーの定着とお店への来訪促進を図るため、デジタルスタンプラリーを実施する。 ・新鮮な稲沢産の食材を美味しくおしゃれに味わうためのイベントとして、「地産地消おしゃれな料理教室」を引き続き開催する。 <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度以降も「祖父江ぎんなんマルシェ」を定期開催していく。(4月、6月、10月、拡大版12月予定)
			特産品の認定及び販路拡大	市(商工観光課) 市(農務課) 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 観光事業者 農商工業者	短期(1～3年)	<p>【市・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一宮市で開催されたイベントに参加し、稲沢の苗木を入学記念樹として配布した。また、「植木のまち・稲沢市」を明記したラベル(値札)を作成し、苗木生産者に使用してもらうことで植木産業のPRに繋げた。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲沢グランドボウルで開催された全日本小学生ボウリング競技大会に出店し、特産品販売とパンフレット等による観光PRを行った。 (8月5日・6日) ・「国府宮はだか祭」の来場者に対し、市内生産者の協力の下、会場近くのJA愛知西国府宮支店の駐車場を利用して特産品の宣伝販売を行った。 (2024年2月22日) ・「いなざわ梅まつり」において、特産品の販売コーナーを設置する。 (2024年3月2日・3日) <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イチョウ黄葉の観賞に訪れた方に向けて、地元飲食店及び土産・特産品店の一覧表と地図を記載したパンフレットを作成し、配布した。また、同情報を商工会の公式Webサイトにも掲載し、PRに努めた。 <p>【祖父江町商工会・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「そぶえイチョウ黄葉まつり」「祖父江ぎんなんマルシェ 拡大版」を活用し、県内外から訪れた来場者に対して、ぎんなんとぎんなん加工品のPR販売を行った。 <p>【JA愛知西】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月と11月に産直店舗においてJA地産地消まつりを開催した。 	<p>【市・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市外のまつりにも引き続き出店し、植木・苗木の販路拡大につなげていく。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市外から多くの来場者が見込めるイベントに幅広く出店し、本市の特産品や観光情報のPRを行っていく。 ・豊田合成記念体育館(エントリオ)でプロスポーツチームの公式戦が年間を通じて開催され、多くの来場者が訪れているので、併設のコンビニ「ヤマザキYショップ」での特産品販売、レストラン「&トレッセ」での銀杏を活用したメニューの提供など、観光面での連携を図れるよう調整を進めていく。 <p>【稲沢商工会議所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等で幅広く特産品を紹介し、販路拡大に繋げていく。 <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者に対し、「そぶえイチョウ黄葉まつり」「祖父江ぎんなんマルシェ」、県内外の物産展への出店を呼び掛けるなど、販路拡大に繋がる取組を推進していく。 <p>【JA愛知西】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA地産地消まつりで「祖父江ぎんなん」の販売を行う。また、各産直広場における販売促進にも引き続き取り組んでいく。

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
3	② 食の魅力づくり・お土産品の開発	<p>◆本市の食材や食品、食文化を活用したイベント等の際に、食材・食品のPRと合わせて生産者、販売者の“こだわり”等を情報発信することで、商品の付加価値を高め、販路の拡大につなげる。</p> <p>◆「食」の地域ブランド化を推進する中でご当地グルメを開発し、シティブロモーションのツールとして活用する。</p> <p>◆市民や来訪者が特産品をいつでも気軽に入手でき、飲食や休憩などできる場所として、主要駅前周辺施設や商店街空店舗の活用、JAの共同直売所の充実をはじめ、交流拠点の整備について検討していく。</p> <p>◆各祭り・イベントにおいて稲沢市PRコーナーを設置し、来訪者が特産品を気軽に購入できる環境を整備する。</p>	<p>ご当地グルメ開発事業の推進 (前期計画:「食」の地域ブランド化の推進)</p>	<p>市(商工観光課) 市(農務課) 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 農商工業者</p>	<p>短期(1～3年)</p>	<p>【市・市観光協会】 ・「食」をフックとした観光事業を展開することで地域の新たな魅力を創出し、通年誘客と市内観光消費の増加に繋げるため、稲沢ならではの「ご当地グルメ」を開発する事業に2022年度から取り組んでいる。 2022年度は市民や飲食店等を巻き込み、「ご当地グルメ」の定義を決定し、2023年度は参加店舗の募集、11/4にカレーフェスティバルの開催、3/1～デジタルスタンプラリーを実施。</p> <p>【祖父江ぎんなんブランド推進協議会(JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農商工業者)】 ・「祖父江ぎんなん」の魅力発信と販売強化による消費拡大及びクレーム防止を目的に、愛知県農業生産力強化支援事業による産地戦略に基づき、「レシピ・保存方法」のリーフレット、「ぎんなんは生鮮食品です」チラシの作成に取り組んだ。作成したリーフレット等は通信販売やイベント販売時に活用した。</p>	<p>【市・市観光協会】 ・「ご当地グルメ」開発事業に引き続き取り組む。2024年度は第2回カレーフェスティバルの実施を予定。</p> <p>【市】 ・特産品のブランド強化及び6次産業化の推進に向けて、関係団体等と連携していく。</p> <p>【祖父江ぎんなんブランド推進協議会(JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農商工業者)】 ・「祖父江ぎんなん」のブランド強化に向けて、協議会の公式Webサイトでイベント・販売情報を発信するなど、更なる知名度向上と消費拡大を目指し、地域一体となって「祖父江ぎんなん」の魅力はPRしていく。</p> <p>・「祖父江ぎんなん」の産地が抱えるボトルネックについて、あいち農業高度化プランナー事業に基づき、派遣プランナーから他業種のノウハウや他県の事例を踏まえた視点により改善提案を受けた取組(売上増に繋がる施策)を進めていく。</p> <p>【市・市観光協会】 ・「祖父江ぎんなん街道」の認知度を高め、現地への誘客に繋げるため、関係者に観光面での活用を働き掛ける。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・「祖父江ぎんなん街道」の認定を活用して、ぎんなんを使った菓子、料理をはじめ、黄金色に染まる景色を楽しんでもらえるように情報発信に努めていく。</p>
			<p>稲沢市の特性を活かした土産品の開発</p>	<p>市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 観光事業者 農商工業者 市民団体</p>	<p>中期(3～5年)</p>	<p>【市観光協会】 ・「信長公生誕の地・勝幡城跡」への来訪記念グッズとして、御城印を制作販売した。</p> <p>・美濃路稲葉宿の来訪記念として、いなざわ観光まちづくりラボメンバーの発案で日本初の飛び出す象!!「美濃路稲葉宿御宿印」を製作し、美濃路稲葉宿本陣跡ひろば周辺の10店舗で販売した。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・地域資源「イチョウ・ぎんなん」を活用した通年型商品の開発を検討するため、2020年度まで国の補助事業等を活用して調査・研究を行ってきた。しかし、2021年度から新規性・斬新性に加えて、確実に商品化できる事業者との連携が求められるようになり、一旦休止して連携先の模索や新たな補助制度などの検討を行っている。また、観光協会主体のご当地グルメ開発の中で、検討を行っている。</p> <p>【JA愛知西】 令和5年4月からJA愛知西での年金受給者(年金友の会会員約21,000人)へ業者と共同開発した「イチョウの葉エキス」入りの石鹸を誕生日プレゼントとして進呈。</p>	<p>【市観光協会】 ・「信長公生誕の地・勝幡城跡」への来訪記念グッズとして、新たに「信長公武将印」の作成に取り組む。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・地域資源「イチョウ・ぎんなん」の更なる掘り起し、高齢化・後継者不足による生産者減少の食い止め、ぎんなんの小粒化・不作を補完する通年型商品開発への対応に努めていく。これまでの調査・研究の結果を基に、引き続き各団体と広く意見交換を行っていく。</p>

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
3	② 食の魅力づくり・お土産品の開発	<p>◆本市の食材や食品、食文化を活用したイベント等の際に、食材・食品のPRと合わせて生産者、販売者の“こだわり”等を情報発信することで、商品の付加価値を高め、販路の拡大につなげる。</p> <p>◆「食」の地域ブランド化を推進する中でご当地グルメを開発し、シティプロモーションのツールとして活用する。</p> <p>◆市民や来訪者が特産品をいつでも気軽に入手でき、飲食や休憩などでもできる場所として、主要駅前周辺施設や商店街空店舗の活用、JAの共同直売所の充実をはじめ、交流拠点の整備について検討していく。</p> <p>◆各祭り・イベントにおいて稲沢市PRコーナーを設置し、来訪者が特産品を気軽に購入できる環境を整備する。</p>	稲沢市の特性を活かした土産品の開発	市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 観光事業者 農商工業者 市民団体	中期(3～5年)	<p>【平和町商工会・大学】</p> <p>・食を通じて平和町の桜のPRと地域の発展、新型コロナウイルスの感染拡大により落ち込んだ消費ニーズの起爆剤とするため、「桜」をテーマとした商品の開発に取り組んだ。開発に当たっては、愛知文教女子短期大学に依頼し、9商品のメニュー提案を受けた。この中の数点に加え、独自に開発した商品を取り扱う事業者が決定したため、近日チラシ等で発表する予定。令和6年度のへいわさくらまつり会場においても事業者や大学生が販売し、PR活動を行う。</p>	<p>【平和町商工会】</p> <p>・愛知文教女子短期大学と連携しながら、引き続き新商品の開発に取り組み、桜グルメのメニュー展開を増やし地域飲食業の活性化の一助とする。</p>
			生産者と消費者をつなげる「産地直売所」等の交流拠点整備の検討	市(商工観光課) 市(農務課) 市(生涯学習課) 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 農商工業者	中期(3～5年)	<p>【祖父江町商工会・農商工業者】</p> <p>・祖父江ぎんなんパークで、ぎんなんグルメや和菓子、農産物、軽食、ドリンクの販売ブースが出店する「祖父江ぎんなんマルシェ」を開催した。イチヨウ黄葉シーズンに開催した「祖父江ぎんなんマルシェ拡大版」では、県内外から訪れた黄葉観賞者に対してぎんなんとぎんなん加工品の販売を行い、大変な賑わいを見せた。(6月17日、8月19日、10月28日、拡大版11月27日～29日) (来場者数:累計17,000人)</p> <p>【市・農商工業者】</p> <p>・農産物出荷者及び団体がJA等の店舗において、産直出店を行った。</p> <p>【JA愛知西】</p> <p>・野菜の地産地消を推進するために野菜生産者に産直施設のメリットをPRし、産直会員の増強に努め販売力を強化した。</p> <p>【市】</p> <p>・進捗なし</p>	<p>【市・市観光協会・祖父江町商工会・JA愛知西・農商工業者】</p> <p>・祖父江ぎんなんパークにおいて、「そぶえイチヨウ黄葉まつり」「祖父江ぎんなんマルシェ」の会場活用を始め、「ぎんなん・歴史・健康」をテーマに幅広い世代の人々が訪れ、多彩な交流が図れる拠点づくりを進める。</p> <p>【市・農商工業者】</p> <p>・産直販売について現在は不定期開催のため、リピーターとなる顧客の確保が難しい状況にある。そのため、定期開催もしくは次回の開催日を周知できるようチラシの作成やSNS等の媒体を活用したPRを検討する。また、農業者団体の枠を超えて農業者間の横の繋がりを広げていく必要がある。</p> <p>【JA愛知西】</p> <p>・農産物出荷者の高齢化により思うように野菜が集まらない現状下であるので、農業塾の卒業生(5年内)への訪問による産直会員への誘導をする。</p> <p>【市】</p> <p>・史跡尾張国分寺跡の保存整備計画を具体化していく中で、地域産業振興拠点としての「(仮称)ふれあい広場」の整備を関係部署と共に検討していく。</p>
3	③ 観光施設の安全確保と利便性の向上	<p>◆子どもから高齢者、障害を持った方、外国人など来訪者の誰もが安心して観光施設を利用できるよう、施設の適正な維持管理に努める。</p> <p>◆バリアフリー化やユニバーサルデザイン化、Wi-Fi環境の整備を推進し、施設利用者の利便性向上を図る。</p>	観光関連施設の適切な維持・管理	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者 ほか	継続実施	<p>【市】</p> <p>・引き続き、施設の適切な維持管理に努めた。</p> <p>・「稲沢あじさいまつり」の会場である大塚性海寺歴史公園に植栽されているアジサイについて、1991年度の整備完了から約30年が経過し、大規模な植え替えが必要となっていることから、園内景観の保全のため2020年度から5か年かけて順次整備を行っている。</p>	<p>【市】</p> <p>・誰もが安心して観光施設を利用できるよう、引き続き適切な維持管理に努めていく。</p> <p>・大塚性海寺歴史公園に植栽されているアジサイについて、引き続き植え替え整備を行う。</p>
			観光関連施設におけるWi-Fi環境の整備 (基本方針1-④再掲)	市(商工観光課) 市(シティプロモーション課) 市観光協会 商工会 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者 ほか	中期(3～5年)	<p>【市】</p> <p>・「稲沢イルミネーション」のイベント会場、イチヨウ黄葉期間中の祖父江ぎんなんパーク及び「いなざわ梅まつり」会場において、来場者サービスの一環として無料Wi-Fiスポットを開設した。</p>	<p>【市】</p> <p>・毎年多くの観光客が見込まれる祭り・イベントにおいて、来場者サービスの一環として会場内に無料Wi-Fiスポットを開設する。現地からタイムリーな情報を発信し、拡散を促すことで、更なる観光誘客に繋げていく。</p>
			観光関連施設におけるバリアフリー化等の推進	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者 ほか	中期(3～5年)	<p>【市】</p> <p>祖父江ぎんなんパークの整備に際し、バリアフリーに配慮した施設づくりを行った。</p>	<p>【市・市観光協会】</p> <p>・市内の主要観光施設における現状調査を順次行い、バリアフリー対応の実態把握に努める。把握できた情報は、稲沢市観光協会の公式Webサイト等に順次掲載していく。</p>

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
3	④ 交通アクセスの充実・活用、鉄道事業者との連携	<p>◆コミュニティバスなどの公共交通機関や民間事業者と連携したレンタサイクルの活用などを検討し、市内を広く周遊できる環境を整備する。</p> <p>◆鉄道事業者との連携をさらに進め、外部からの誘客を図る事業を企画・立案し、来訪・交流人口の拡大による地域の活性化へとつなげる</p>	<p>鉄道事業者主催のウォーキングイベント等との連携</p> <p>【後期計画より新規】 (基本方針2-⑨再掲)</p>	市(商工観光課) 市観光協会 交通事業者	継続実施	【市観光協会】 ・名鉄・JR主催のウォーキングイベントと連携し、イベントを開催した。	【市観光協会】 引き続き、各事業者主催のイベントと連携した事業を実施する。
			稲沢市コミュニティバスの活用	市(商工観光課) 市観光協会	短期(1～3年)	【市観光協会】 ・バス路線の改定に合わせてリニューアルした市内観光マップ「コミュニティバスに乗って観光地へ行こう!!」を活用した。 ・来訪者に対し、市内の主要観光スポットへの二次交通手段として、コミュニティバスの活用を促した。なお、元来観光客の利用を想定したバスではないため、時間帯によって本数が少ないことが課題。	【市観光協会】 ・コミュニティバスを二次交通手段として効果的に活用できる方法を検討する。
			民間事業者と連携したレンタサイクル等の活用	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 市民団体	短期(1～3年)	未実施	【市・市観光協会】 ・実施に向けて調査研究していく。
			鉄道事業者と連携した誘客促進	市(商工観光課) 市観光協会 交通事業者	短期(1～3年)	<p>【市・市観光協会・農商工事業者】 ・愛知・名古屋観光誘客協議会とJR東海が連携し、7月から9月にかけて展開した「冷やし旅」キャンペーンの企画として、稲沢フルーツ園の「パッションフルーツもぎとり体験」を提案した。</p> <p>【市観光協会・交通事業者】 ・JR東海が実施するさわやかウォーキングにおいて、JR貨物愛知機関区が組み込まれたことを契機に、JR貨物との連携強化を図ることができた。 ・名古屋鉄道に対してハイキングの実施を提案した結果、そぶえいチョウ黄葉まつり期間中に森上駅～山崎駅間のコースで名鉄ハイキングが実施された。</p>	<p>【市・市観光協会】 ・2023年度も実施される「冷やし旅」キャンペーンに向けて、市内で楽しめる「冷やし旅」コンテンツの発掘と企画造成に取り組む。 ・愛知・名古屋観光誘客協議会等への参画を通じて、愛知県、愛知県観光協会、運輸機関(鉄道会社等)との連携により、プロモーション活動や周遊促進施策を効果的に展開し、本市への更なる観光誘客に繋げていく。</p> <p>【市・市観光協会・交通事業者】 ・2023年5月18日・19日に国府宮駅から新清洲駅間で名鉄ハイキングが計画されており、尾張大國霊神社(国府宮)、JR貨物愛知機関区、長光寺、亀翁寺等を立ち寄りスポットとして組み入れてもらう予定。名古屋鉄道の協力により一定の集客が見込めるため、今後関係者と連携を図りながら、受入準備を進めていく。 ・JR東海と名古屋鉄道に対し、市内での新たなハイキングの実施に向けて、積極的な提案を行っていく。</p>
3	⑤ トイレ、休憩所、駐車場の整備及び案内	<p>◆市内を散策又はドライブ周遊する際に必要なトイレや休憩できる場所、駐車場について順次整備を進めるとともに、それらの情報を来訪者に分かりやすく提供する。</p> <p>◆各施設の整備に際しては、来訪者の誰もが安心して利用できるよう、バリアフリー化やユニバーサルデザイン化に努める。</p>	トイレ、休憩所、駐車場に関する情報提供	市(商工観光課) 市観光協会	短期(1～3年)	<p>【市・市観光協会】 ・トイレ、休憩所、駐車場の設置状況が把握できた施設から順次、稲沢市観光協会の公式Webサイトに情報掲載した。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・祖父江ぎんなんパークのオープンに合わせて作成したパンフレット及び園内マップを活用し、トイレ及び専用駐車場の情報提供を行った。</p>	【市・市観光協会】 ・市内の主要観光施設における現状調査を引き続き実施する。把握できた情報は、稲沢市観光協会の公式Webサイト等に順次掲載していく。
			トイレ、休憩所、駐車場の適切な整備	市(商工観光課) 国・県 観光事業者 交通事業者 寺社 ほか	中期(3～5年)	<p>【市】 ・祖父江ぎんなんパークの整備に際し、バリアフリーに配慮したトイレ及び駐車場を設置した。</p> <p>【市観光協会】 ・「国府宮はだか祭」の開催に際し、国府宮駅前ロータリーと名古屋文理大学文化フォーラム駐車場に仮設トイレを設置した。また、障がい者の社会進出支援の観点から、「いなざわ梅まつり」において、一般用の仮設トイレと共に車いす対応の仮設トイレを設置する。</p>	<p>【市】 ・各施設の適切な維持管理に努めていく。</p> <p>【市観光協会】 ・イベント時の仮設トイレの設置に今後も継続して取り組んでいく。</p>

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
3	⑥ イベント民泊の実施	◆国府宮はだか祭をはじめ多数の集客が見込まれる祭り・イベント時の交流促進や観光消費の拡大等につげるため、宿泊施設の不足解消に向けた一つの対策として、イベント民泊の実施について検討する。	イベント民泊の検討	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 寺社 市民個人	中期(3~5年)	未実施	【市・市観光協会】 ・実施に向けて調査研究を進めていく。
3	⑦ イベント・コンベンションの誘致	◆アジア競技大会をはじめとする国際的規模のスポーツ大会の開催機会を捉え、スポーツ・文化の事前合宿やイベント・コンベンションを誘致し、地域経済の活性化につなげる。 ◆誘致に際しては、名神高速道路、東名阪自動車道などの高速道路ネットワークに近接した立地環境や名古屋市から鉄道で約10分圏内であるという利便性を強調するほか、市内に活動拠点のあるスポーツチーム及び豊田合成記念体育館(エントリオ)とも連携協力し、イベント・コンベンションの開催地としての魅力をアピールする。 ◆市内に所在する大規模ボウリング場を活用し、全国大会をはじめとする大規模なイベントの開催地誘致活動に取り組む。	ボウリング競技における大規模イベント(全国大会等)開催地誘致活動の推進 【後期計画より新規】 ウルフドッグス名古屋及び豊田合成記念体育館(エントリオ)との連携 【後期計画より新規】 アジア競技大会における関連事業誘致活動の推進	市(スポーツ課) 市(商工観光課) 市(シティプロモーション課) 市(スポーツ課) 市観光協会	短期(1~3年) 短期(1~3年) 中期(3~5年)	【市】 ・全国小学生ボウリング大会の実施。13回目の開催(一般財団法人地域活性化センター:スポーツ拠点づくり推進事業補助金350万円) 【市】 ・豊田合成記念体育館(エントリオ)がアジア競技大会ハンドボール競技会場に決定。(ハンドボール競技はエントリオ、春日井市総合体育館の2会場にて開催。)	【市】 ・全国小学生ボウリング大会の実施。14回目の開催(一般財団法人地域活性化センター:スポーツ拠点づくり推進事業補助金300万円) 【市】 ・2026年の開催に向け、それぞれ体育館所有者である㈱TG sportsと組織委員会との連携を行い、市民へ周知していく。 関連イベントや会議等に積極的に参加しながら、機会を捉えて本市での開催をアピールしていきたい。
			イベント(コンサート、発表会)・コンベンション(会議、集会、大会)の誘致	市(商工観光課) 市(スポーツ課) 市観光協会 商工会議所 商工会	中期(3~5年)	【市】 ・JR稲沢駅の東側に豊田合成記念体育館(エントリオ)では、国内トップレベルのバレーボール、ハンドボール、バスケットボールの試合が開催されており、名古屋駅からJRで約10分というアクセス良好の立地もあって、観戦を目的に市外から多くの来場者が訪れている。 ・ウルトタウン稲沢DAYと題し、市内在住の方を対象にホームゲームの招待チケットを配布。多くの市民へ周知出来るよう広報誌、市HPにて周知を行う。	【市・市観光協会・商工会議所・商工会】 ・ウルトタウン稲沢DAYについて広報誌、市HPでの周知の継続。当事業の認知度を高めていく。 【市観光協会】 ・豊田合成記念体育館(エントリオ)でプロスポーツチームの公式戦が今後も年間を通じて開催され、多くの来場者が見込まれる。施設の開放や併設のコンビニ「ヤマザキYショップ」での特産品販売、レストラン「&トレッセ」での銀杏を活用したメニューの提供や旅行商品への参画など、観光面での連携が図れるよう調整を進めていく。また、試合観戦の前後に市内観光を楽しんでいただけるよう、来場者に向けておすすめ観光情報を提供していく。
3	⑧ 国際姉妹友好都市との交流による外国人観光客の誘致	◆オリンピック・パラリンピック競技大会やアジア競技大会の開催を契機として、姉妹都市であるギリシャのオリンピア市との交流を促進し、相互理解を深めるとともに、外国人観光客の誘客を図る。 ◆友好都市である中国の赤峰市との交流促進を始めとする国際友好事業に取り組む。	ギリシャ共和国・オリンピア市ホストタウン推進事業 国際友好事業	市(シティプロモーション課) 市(地域協働課) 観光事業者 市民団体 市国際友好協会	短期(1~3年) 中期(3~5年)	【市】 ・11月に駐日ギリシャ大使夫妻を招き、ぎんなんパークにて祖父江のイチヨウ黄葉見学を行ったほか市内企業の視察等を行った。 【市】 ・国際友好協会による「語学講座」「料理講座」等の開催支援を行った。	【市】 ・30年以上にわたって交流を続けているオリンピア市や、ホストタウン事業を通じて得られたギリシャ大使館等との繋がりを活かし、引き続き交流を促進していく。 ・2024年4月にオリンピア市の招待により、オリオリンピック聖火リレーに中学生を派遣する。 【市】 ・外国人にとって魅力ある事業になるよう、国際友好協会主催事業の充実を図る。 ・令和6年4月16日にパリオリンピック聖火採火式が行われるため、この機会に相互の理解を深めるとともに、友好関係の進展に貢献することを目的に市民派遣を行う。

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）後期計画 アクションプラン進捗状況【2023年度実績】

※網掛けは別ページに重複して掲載

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2023年度の実績・進捗状況 【2024年2月末時点見込み】	2024年度以降の取組方針（課題を踏まえて）
3	⑨ 観光まちづくりに資する観光統計の充実	<p>◆地域づくりに資する指標と経済効果に関する指標を併せて把握し、地域づくりと収益性の両面を満たした持続可能な観光まちづくりを目指す。</p> <p>◆ターゲットを絞ったプロモーションを実施し、市内への誘客につなげていくため、来訪者の属性や市内観光消費額、外国人観光客数等の必要な統計数値を各種調査により把握し、効果検証を重ね、事業の見直しと新規施策の企画立案に活用する。</p>	アンケート調査等による市民意識の把握	市(商工観光課) 市観光協会	短期(1～3年)	【市】 ・市政世論調査を2022年7月30日～8月15日の期間で市内在住の18歳以上2,500人を対象に実施。 1.稲沢市の観光振興に対する満足度 28.7% 2.稲沢市に対して誇りや愛着を持つ市民の割合 63.5%	【市】 ・2024年に市政世論調査を実施予定(隔年調査)。 1.「稲沢市の観光振興に対する市民満足度」及び 2.「稲沢市に対して誇りや愛着を持つ市民の割合」の把握に努める。
			来訪者等に対するマーケティング調査の実施	市(商工観光課) 市観光協会	中期(3～5年)	【市観光協会】 ・6月に開催された「稲沢あじさいまつり」、11月に開催された「そぶえイチョウ黄葉まつり」の会場で、観光客動向調査を実施した。 ・3月開催の「いなざわ梅まつり」会場で来場者にアンケート調査を実施し、来訪者の特徴と市内での一人当たり観光消費額の把握に努める。	【市・市観光協会】 ・今後も継続的にアンケート調査を実施し、観光客のニーズを把握することで、祭り・イベントの運営やプロモーション活動に反映し、持続的な集客に繋げていく。また、より精度の高い市内観光消費額の把握方法を調査研究し、観光を活用した地域経済が潤う仕組みの構築を目指す。
			観光に関する統計の整備	市(商工観光課) 市観光協会	中期(3～5年)	【市・市観光協会】 ・愛知県観光レクリエーション利用者統計に基づく観光入込客数の対象に含まれない市内の祭り・イベント、施設等の来訪者数について調査し、把握に努めた。	【市・市観光協会】 ・今後も継続的に来訪者数調査を実施し、検証を重ねることで、市内への効果的な誘客方法を探っていく。また、観光客の動向やニーズ、トレンド等、国や県が実施する観光統計調査の情報を把握し、稲沢への来訪促進や消費拡大に向けて活用していく。さらに、外国人観光客数を把握する有効な手法についても調査研究を進めていく。